

工 事 番 号			係 長			
設計年度	令和8年度		味瀉雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事 (8-1) 三原市 幸崎能地三丁目			
施工月日	令和	年 月 日				
施工方法	請 負					
工事期間						
工 事 概 要			起 工 理 由			
施工内容 沈砂池機械設備 自動除塵機 N=2台 しさを搬出機 N=1台						

仕 様 書

令和8年度

味瀉雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事（8-1）

特記仕様書

令和8年6月

三原市都市部下水道整備課

目 次

第 1 章	総則
第 2 章	施工条件
第 3 章	設計金額
第 4 章	工事保険等
第 5 章	工事損失等
第 6 章	その他
第 7 章	機器仕様
§ 1	No.1～2 自動除塵機
§ 2	しさを搬出機
第 8 章	複合工
第 9 章	撤去工
第 10 章	工事計画
第 11 章	附帯電気工事

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市幸崎能地三丁目 味瀉雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事(8-1)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和7年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 最新版 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 最新版 三原市
 - ・その他関連規格類

第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第3節 支払い条件等

前払い金及び中間前払い・部分払等の支払いについて、令和8年度は契約金額の10分の4以内の額とする。

第4節 部分引渡し

建設工事請負契約約款第39条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第5節 検査

土木工事共通仕様書(令和7年8月広島版)『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第6節 情報共有システム(設計金額500万円以上が対象)

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>

- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品 1 部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第 7 節 週休 2 日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休 2 日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休 2 日適用工事等実施要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。

第 8 節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を行わない工事とする。

第 9 節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第 5 4 条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第 10 節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
 - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和7年8月広島版）『第1編 1-1-33 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 第1節 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- (1) 原因調査 監督員と協力して行なうものとする。
- (2) 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当るものとする。
- (3) 応急処置 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。
- (4) 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。

第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第7章 機器仕様

§ 1 No.1～2自動除塵機

1. 使用目的

本機は、流入した下水中の比較的細かい浮遊物を阻止し、かき揚げるのを目的とするものである。

2. 仕様

項目	仕様	備考
(1) 型式	間欠式前面かき揚げ型	
(2) 池寸法	水路幅 1,600mm×深さ 2,400mm×1池	
(3) スクリーン	目幅 60mm×取付角度 70°	
(4) 駆動装置	3φ×2.2kW×200V×60Hz	
(5) 数量	2台	
(6) その他項目	・カバー 有り ・スラブ開口部蓋 無し (開口全てを設置架台で覆う)	

3. 構造概要

本機は、本体フレーム、駆動装置、レーキ、軸、スクリーン等よりなり、流入した下水中の浮遊物を阻止し、単一レーキにてかき揚げ搬出コンベヤ上に排出するものである。なお本機は駆動装置及び回転部が水上にある構造である。

4. 製作条件

- (1) 本装置の各部の強度は、十分な安全率をとるものとする。
- (2) 強度計算は、全負荷荷重が片側に掛かったものとして計算すること。
- (3) 装置各部の強度は十分であっても、腐食摩耗のおそれがある部分は肉厚を考慮する。
- (4) スクリーンの強度は、水位差及び流入浮遊物、流入量等を検討し、十分強度的に問題のない構造とする。
- (5) レーキ速度は、7.5m/min 以下とする。

5. 各部の構造

各部構造は次による。

(1) 駆動装置

- 1) 駆動装置は、電動機と減速機を使用し、駆動軸への伝達はチェーン・歯車又は直結にてレーキを駆動する。駆動用電動機が水没するおそれのある場合、水中型電動機を使用すること。
- 2) レーキは、ローラガイドにそって昇降が行われるものとする。
- 3) 電動機は、ブレーキ付電動機とする。
- 4) 点検架台には、鋼製階段を設け、昇降が容易に出来る構造とし、危険防止用の鋼管製手摺を設けるものとする。
- 5) 点検架台及びタラップ踏板には、床用縞鋼板 (4.5mm 以上) を張ること。
- 6) 電動機直結減速機の回転部には、必要に応じカバーを設けること。
- 7) 主軸は、十分なる強度を有し、振りモーメント及び曲げモーメントを同時に受けた場合

に於いても十分安全なものとする。

減速機が油潤滑の場合には減速機排油弁には、ビニルホース等の接続が可能な短管を取付け、常時はキャップ止めとしておく。

(2) フレーム

- 1) フレームは、形鋼及び鋼板製（厚9mm以上）とし、溶接及びボルトで強固に組立て、溶接歪、曲り等のない構造とする。
- 2) フレームは、かき揚げ用レーキのガイドレールを設け、しさのかき揚げ、排出が支障なく行われるよう、構造的に十分考慮し、製作するものとする。
- 3) フレームに取り付けるレーキガイドレールは、レーキに取り付けたガイドローラが転動して移動する溝を設けたもので、水路の両側壁部に設置する。
取付けは、壁面にアンカーボルトにて強固に取り付けるものとする。
- 4) レーキガイドには、しさが付着しないよう十分考慮するものとする。
- 5) シュートの清掃が容易に行えるよう、必要な場合には掃除口を設け、作業台に取り付ける。
- 6) 駆動軸のフレーム貫通部は、密閉措置を行う。

(3) カバー

- 1) 上部のフレームには、鋼板（4.5mm以上）製のカバーを設けること。
- 2) カバーは、分解組立及び点検、手入等が容易に出来る構造とし、適当なる点検扉（厚3.2mm以上）等を設けるとともに、十分なる強度を持たせるものとする。前面の点検扉とレーキとの間隔は十分とり、点検扉内側には取外し容易な保護用格子等を設ける。
- 3) カバー内にしさが付着しないよう、各リブには60°以上の傾斜板を取り付ける。
- 4) 扉用蝶番はすべてステンレス製とする。
- 5) 扉にはストッパを取り付ける。
- 6) カバー上部には、外気を取り入れ、内部を乾燥状態に保つため、換気扇を取り付けること。

(4) シュート、エプロン

- 1) レーキにてかき揚げたしさは、エプロン（厚9mm以上）上端部より所定の位置まで、シュート（厚6mm以上）にて停滞することなく排出できる構造とすること。
- 2) シュートは、エプロンと同様に、強度及び腐食を考慮し、板厚を十分厚くすること。

(5) レーキ

- 1) レーキの先端には、バースクリーンのピッチに適合した爪を切り、効率良くしさをかき取る構造とする。
- 2) レーキは、特に丈夫な構造とし、かき取ったしさがこぼれないような構造とするものとする。
- 3) レーキには、両端にガイドローラを設け、水路両壁に設けたガイドレールに沿って円滑に移動する構造とする。

(6) 細目スクリーン

- 1) スクリーンは、平鋼（FB75×9以上）の歪みを確実に取り除き、平鋼が等間隔になるようスペーサをはさみ、両ねじの通しボルトにて締め付け組立てること。
- 2) スクリーンは、支持用形鋼にボルトにて取り付けるものとし、支持用形鋼は両端を水路

側壁にアンカーボルトにて固定すること。

3) アンカーボルトは、躯体鉄筋に溶接し、充分強度を有すること。

(7) 給油装置

1) 給油方式は、原則として集中給油方式とし、給油は手動グリースポンプによるもので、必要量の分配弁を設ける。グリースガンによる場合は、給油しやすい位置にグリースニップルを設けること。

2) 給油口から各軸受までの配管は、分配弁の1次側をステンレス管 (SUS304sch40)、2次側は、水中部ステンレス管 (SUS304)、その他は被覆銅管 (CuT) 及び耐圧ゴムホースとする。

3) 配管は、必要箇所を堅固に支持固定し、支持材を防食処理する。テークアップ等移動する軸受にはできる限りフレキシブル管を使用すること。

(8) 雨水流入等で粗大な夾雑物が流入する沈砂池に設置する除じん機のカバー、シュート等は、夾雑物等の閉塞(粗大な夾雑物等がかき上げられた場合等を含む)があった場合にも、人力等で閉塞した夾雑物等の排出作業が可能のように、現場で分解・組み立てが可能な構造とする。

6. 使用材料

使用材料は次による。

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------|-------------------------------|
| (1) フレーム | 形鋼及び鋼板 | (SS400) |
| (2) 軸 | | (S35C 以上又は STK+S45C 以上) |
| (3) レーキ | 形鋼及び鋼板 | (SUS304) |
| (4) 回転ローラ | (軸受、オイルレスメタル又はボールベアリング) | (FC200 以上、S35C 以上) |
| (5) スクリーン | 平綱、形鋼 | (SUS304) |
| (6) スプロケットホイール | 鋳鋼、機械構造用炭素鋼又はダクタイル鋳鉄 | (SC480、S45C 以上又は FCD500 以上) |
| (7) その他接水要部 (ピン、ボルト、スペーサ、通しボルト等) | | (SUS304)
(ピンボルトの場合 SUS403) |

7. 保護装置

- (1) 電氣的保護装置
過負荷防止用過電流検出器 (電気設備工事)
- (2) 機械的保護装置
過負荷防止用減速機内蔵トルクリミッタ
機械式トルクスイッチ (必要な場合)

8. 運転・操作概要

- (1) 操 作
- | | |
|----|------------|
| 中央 | 自動・手動 |
| 現場 | 単独 (運転・停止) |
| | 連動 |
- (2) 自動運転
- | | |
|------|--------|
| 起動指令 | タイマ |
| | 主ポンプ運転 |

起動条件 搬出装置運転
保護継電器不動作
連動機器 搬出装置

9. 試験・検査

機械設備工事一般仕様書による。

10. 塗 装

塩害対策を施すこと。(SS+Zn メッキ+塩ゴム系塗装)

そのほかは機械設備工事一般仕様書による。

11. 据 付

機械設備工事一般仕様書によるほか、次の点に留意すること。

- (1) フレーム及びスクリーンは、指定された取付け角度に正確に据え付けること。
- (2) フレームとスクリーンは、相対的な位置を十分考慮し、かき揚げ時にレーキとスクリーンの噛合いが、なんら支障のないよう十分注意すること。
- (3) カバー内スラブは、しさが付着しないよう傾斜板あるいはモルタル仕上げを行なう。
- (4) 除じん機前側のスラブ開口部は、除塵機設置架台で覆うこと。

12. 他工事との区分

- (1) 電気設備工事との区分

機械設備工事一般仕様書による。

13. 標準付属品

- | | |
|-------------------------|----|
| (1) アンカーボルト | 1式 |
| (2) 照明器具 (防水型、ガード付) | 2個 |
| (本体上部用、スクリーン前面部用) | |
| (3) 換気扇 (ガード及び風量調整ダンパ付) | 1式 |
| (4) 点検架台、階段 | 1式 |

14. 特記事項

- (1) 既設端子箱は、No.1～2自動除塵機、しき搬出機、スキップホイスト兼用で除塵機架台脚部に設置している。
スキップホイスト用に維持 (一時撤去・再据付を本工事とする。) とし、更新するNo.1～2自動除塵機、しき搬出機用の端子箱は各々設けること。
- (2) 除塵機架台更新時、既設端子箱を一時撤去・再据付する必要があるが、受注者により工事の邪魔にならない位置に仮置き・養生をし、工事完了後再据付までを本工事に含む。

§ 2 しさ搬出機

1. 使用目的

本機は、しさを搬出するのを目的とする。

2. 仕様

項目	仕様	備考
(1) 型式	トラフ型ベルトコンベヤ	
(2) 寸法	ベルト幅 600mm×機長(軸芯距離) 7,000mm	
(3) ベルト速度	20m/min	
(4) 駆動装置	3φ×1.5kW×200V×60Hz	電動機
(5) 数量	1台	
(6) その他項目	<ul style="list-style-type: none">・駆動装置 モータープーリ・緊張装置 スクリュー式テークアップ・質量計 無し・質量計テストチェーン 無し・カバー 屋外用・キャリア及びリターンローラ 鋼管ゴムライニング・洗浄装置 不要	

3. 構造概要

本機は、しさを搬送するためのもので、構成は、水平型ベルトコンベヤとしてコンベヤフレーム、駆動プーリ、テールプーリ、テークアップ、ベルト、スカート、キャリアローラ、リターンローラ、受皿、排水装置よりなる。

4. 製作条件

駆動用電動機の出力は、被運搬物をバラ物として扱い、運搬能力を計算し、ベルト速度を約 20m/min (モータープーリ使用の場合はこの限りではない) としたうえで製作すること。ベルト幅は 500mm 以上とする。

なお、駆動方法は、サイクロ減速機、遊星歯車減速機、又はモータープーリとする。

5. 各部の構造

- (1) ヘッドプーリは、ラッキングを施しスリップのない動力伝達効率良好のものとする。
- (2) キャリヤローラ、リターンローラ及びサイドローラは、鋼管に塩化ビニルライニング又はゴムライニングを施したもので、ローラ寸法は、ベルト幅 600mm 以下は 90φ 以上、750mm 以上は 115φ 以上とし、ボール又はローラベアリングを使用した円滑な転動をする摩擦損失の少ない十分な強度を有するものとする。
また、キャリアローラは 1m、シュート部分は 0.5m 以下、リターンローラは 2m の間隔で取り付ける。自動調芯ローラは原則としてキャリア側 10m ごとに 1 個、リターン側 20m ごとに 1 個の間隔で設置するものとする。ただし、機長 20m 以下については、自動調芯ローラはキャリア側、リターン側ともに各 1 個とする。
- (3) キャリヤローラは、特殊な場合を除き 3 ローラ 20°トラフとする。
- (4) ゴムベルトは、積層数 3P 以上のエンドレス加工をしたものとする。

(5) ゴムベルトの緊張のためにテールプーリにストローク 300mm 以上のテークアップ（保護カバー付き）を設ける。

(6) ベルトクリーナは、先端に超硬合金製チップを用いたものを取り付けるものとする。また、ベルトの両側面には、しき落下防止用の当て板と調節可能なように、ボルト（SUS）止めしたゴム板を全長にわたって取り付けること。

なお、コンベヤには、しきのこぼれ防止のため、全長にわたりスカート及び受皿を取り付け、コンベヤ連絡部にはシュートを取り付ける。受皿は、ステンレス鋼製（SUS304、2t 以上）で清掃容易な形状のものとする。排水はドレン管（100A 以上）で排出する。

(7) コンベヤフレームは、形鋼製で溶接又はボルトで強固に結合し、据付面に堅固に取り付けコンベヤ各部の荷重のほか、輸送の荷重を含めた全荷重に対しても十分耐えられとともに外観優美な構造とすること。

さらに屋外部については、厚さ 2mm 以上（SUS304）の雨カバーを取り付け、風圧に対しても十分考慮すること。カバーにはヘッド部、テール部各 1 箇所、及び中間部 5m に 1 ヶ所の点検口を取り付けることを標準とする。また自動調芯部、蛇行検出部にも点検口を設けること。

枠及び足は、[100×50×5、他の骨材は L50×6 以上とする。

吊下げ型の場合、枠及び吊下げ材は、[150×75×9 とし板材は 6t とする。

(8) チェーン伝動式の駆動装置には、スライドベースを設けるとともに、チェーンにオフセットリンク（2 リンク分）を取り付ける。

(9) 減速機がオイル潤滑の場合、油弁にはビニルホース等の接続が可能な短管を取り付け、常時はキャップ止めとしておく。

(10) サイドローラ、キャリアローラ、リターンローラ等の点検が必要な箇所においては、維持管理を考慮した点検口を設ける。

6. 使用材料

(1) コンベヤフレーム架台	SS400
(2) ヘッドプーリドラム	鋼製+外面ゴムライニング
(3) テールプーリドラム	鋼製
(4) ゴムベルト	耐油性ゴム
(5) キャリア及びリターンローラ本体	ゴムライニング鋼管製
(6) ベルトクリーナ	先端超硬合金製チップ付
(7) スナッププーリ	SS+ゴムライニング
(8) V型ベルトクリーナ	SUS304+ゴム
(9) テークアップ スクリュー及びスライト部	SUS304 製台形ねじ

7. 保護装置

(1) 機械的保護装置

減速機内蔵トルクリミッタ（モータプーリの場合は除く）

(2) 電氣的保護装置

蛇行検出用サイドローラリミットスイッチ

（機長 20m 未満は 2 個/台、20m 以上は 4 個/台）

ワイヤ式非常停止装置（コンベヤの両側に設ける）

8. 運転・操作概要

(1) 操 作

中央 自動
現場 単独（運転・停止）
連動
（ワイヤロープによる緊急停止）

(2) 自動運転

起動指令 主機系運転指令
連動機器 主機系
洗浄用自動弁

9. 試験・検査

機械設備工事一般仕様書に準拠するほか現場操作試験を行う。

10. 塗 装

塩害対策を施すこと。（SS+Zn メッキ+塩ゴム系塗装）

そのほかは機械設備工事一般仕様書による。

11. 据 付

機械設備一般仕様書に準拠するほか次の点に留意すること。

(1) 据付けは他機器との取合を十分考慮し、所定の位置に正確に据え付けること。

12. 他工事との区分

(1) 土木、建築工事との区分

1) コンクリート躯体にアンカーボルトにて固定する機器の、アンカーボルト用孔明はつり及びその復旧工事は本工事に含む。

2) 据付け部仕上モルタルとアンカーボルト埋込及び埋込用モルタル、各機器据付調整用モルタルは本工事に含む。

(2) 電気設備工事との区分

機械設備工事一般仕様書に準拠する。

13. 標準付属品

- | | |
|-----------------------------|----|
| (1) ベルトクリーナ | 1式 |
| (2) 緊張装置 | 1式 |
| (3) スカート、シュート及び受皿 | 1式 |
| (4) アンカーボルト | 1式 |
| (5) 蛇行検出リミットスイッチ付サイドローラ | 1式 |
| (6) キャリアローラ、リターンローラ及びサイドローラ | 1式 |
| (7) ワイヤ式非常停止装置 | 1式 |
| (8) しき排出シュート | 1式 |

第8章 複合工

§ 1 鋼製加工品類

1. 鋼製加工品仕様及び施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	材質	数量	備考
1	自動除塵機点検架台、階段	屋外	設計図による	SS400+塗装	1	
2	配管サポート	屋外	—	SS400+塗装	1式	

2. 特記事項

- 1) 詳細は、図面による。

§ 2 基礎工

1. 基礎工仕様及び施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	数量	備考 (防食塗装, 防水等)
1	No.1~2 自動除塵機基礎	水路内、 屋外	設計図による	2	
2	しき搬出機基礎	屋外	設計図による	1	
3	点検架台脚部基礎	屋外	設計図による	1式	

2. 特記事項

- 1) 詳細は、図面による。

§ 3 配管類

1. 配管仕様および施工範囲

番号	配管名	材質	口径 (A、φ)	施工範囲	備考 (配管被覆等)
1	排水管	SUS	200~125	しき搬出機~ピット	

2. 特記事項

- 1) 詳細は、図面による。

第9章 撤去工

§ 1 撤去機器

1. 撤去機器リスト

番号	名 称	数量 (台)	備 考
1	No.1～2自動除塵機	2	点検架台、階段撤去 含む
2	しき搬出機	1	
3	No.1～2細目スクリーン	2	

2. 特記事項

- 1) 詳細は、図面による。
- 2) 撤去品のうち、産業廃棄物及びの対象となるものについては、本施設内指定場所への処分を行うこと。また、有価物についても、分別（SS、SUS等）して本施設内指定場所へ運搬すること。
- 3) 撤去品は、監督員の指示により適切な処理を行い、敷地内に保管すること。
- 4) 撤去工事において不要となる基礎については、床面から30mm程度までを研り、床面をモルタル仕上げの上、復旧のこと。

§ 2 撤去鋼製加工品類

1. 鋼製加工品仕様及び施工範囲

番号	名 称	設置場所	主 寸 法	材 質	数 量	備 考
1	自動除塵機点検架台、階段	屋外	設計図による	SS400	1	
2	配管サポート	屋外	—	SS400	1式	

2. 一般仕様書の適用

3. 特記事項

- 1) 詳細は、図面による。
- 2) 撤去品のうち、産業廃棄物及びの対象となるものについては、本工事で処分を行うこと。また、有価物についても、分別（SS、SUS等）して指定場所へ運搬すること。
- 3) 撤去品は、監督員の指示により適切な処理を行い、敷地内に保管すること。

§ 3 撤去基礎工

1. 基礎工仕様および施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	数量	備考 (防食塗装, 防水等)
1	No.1~2 自動除塵機基礎	屋外	設計図 による	2	
2	しき搬出機基礎	屋外	設計図 による	1	
3	No.1~2 細目スクリーン 基礎	水路内	設計図 による	2	

2. 特記事項

- 1) 撤去工事において不要となる基礎については、床面から30mm程度までを研り、床面をモルタル仕上げの上、復旧のこと。
- 2) 撤去品については、きれいに整理し、SUS, SS品等にきちんと分類すること。
- 3) 撤去工事等において発生した産業廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定に基づき、請負者の責任の下に適正に処理すること。
- 4) 撤去品のうち、スクラップの対象となるものについては、県の指定する方法で本場内の指定する場所にて引き渡すものとする。

§ 4 撤去配管類

1. 配管仕様および施工範囲

番号	配管名	材質	口径 (A、φ)	施工範囲	備考 (配管被覆等)
1	排水管	SUS	200~125	しき搬出機~ピット	

2. 特記事項

- 1) 撤去工事において不要となる基礎については、床面から30mm程度までを研り、床面をモルタル仕上げの上、復旧のこと。
- 2) 撤去品については、きれいに整理し、SUS, SS品等にきちんと分類すること。
- 3) 撤去工事等において発生した産業廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定に基づき、請負者の責任の下に適正に処理すること。
- 4) 撤去品のうち、スクラップの対象となるものについては、県の指定する方法で本場内の指定する場所にて引き渡すものとする。

第10章 工事計画

10.1 工事概要

工事は、非出水期（10～5月）におこなう。

工事中における対応を以下に示す。

なお、水路内作業時に止水板設置の必要がある。

機器名	工事中の対応	備考
No.1～2 自動除塵機	工事は1台ごとにおこなう。 以下に工事手順を示す。 ①上流側角落し設置 ↓ ②水路内工事 ↓ ③完了後、2水路目を上記手順で施工する。	場内にある角落しを使用する。 両水路に2枚毎設置。
しき搬出機	停止中	

10.2 仮設止水板設置方法

以下の手順で設置する。

- ① 晴天日にNo.1～2雨水ポンプで、LLWL（▽-1.600）まで排水する。
- ② 水路内で、既設角落しを2枚毎両水路に設置。
- ③ 水路内工事
- ④ 工事完了後、2水路目を上記手順で止水板設置をおこなう。

仮設計画図は設計図面M-8とする。

第11章 附帯電気工事

11.1 目的

除塵機、しき搬出機の更新に合わせて必要な範囲のケーブル、電線管の更新と撤去、再取り付けを行う。

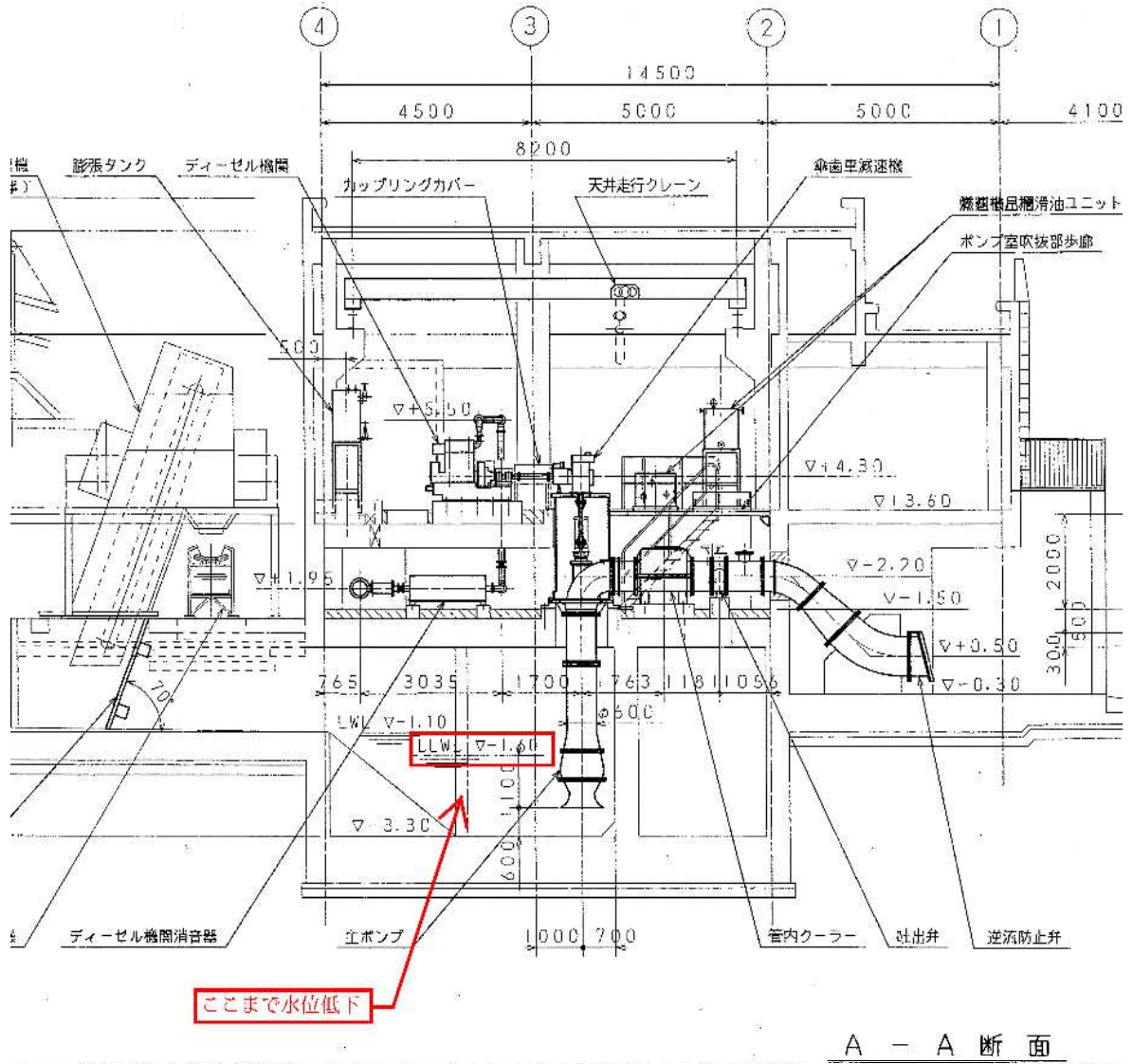
11.2 準拠規格

電気設備工事一般仕様書・同標準図（日本下水道事業団 最新版）により、疑義が生じた場合は監督員と協議する。

11.3 施工範囲

設計図のとおりとする。

—雨水ポンプ LLWL (完成図書より)—



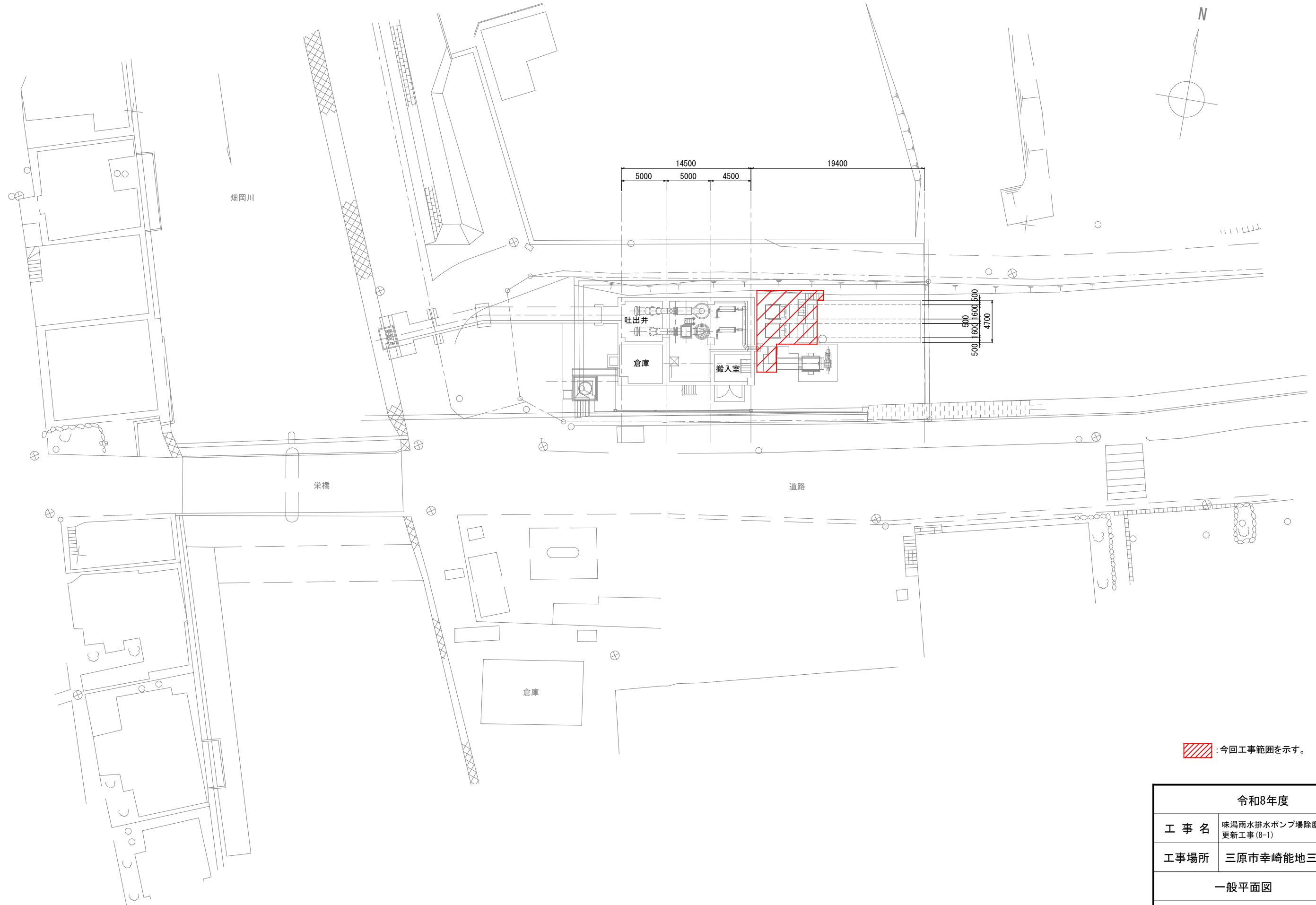
工事数量総括表


費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
設備工（機器費）		式		1	レベル1
ポンプ設備工		式		1	レベル2
ポンプ設備工		式		1	レベル3
設計技術費対象		式		1	レベル4
機器費					
設備工		式		1	レベル1
ポンプ設備工		式		1	レベル2
輸送費		式		1	レベル3
材料費		式		1	レベル3
直接材料費		式		1	レベル4
補助材料費		式		1	レベル4
労務費		式		1	レベル3
一般労務費		式		1	レベル4
機械設備据付労務費		式		1	レベル4
複合工費		式		1	レベル3
土工		式		1	レベル4
直接経費		式		1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
機械経費		式		1	レベル4
仮設費		式		1	レベル3
直接工事費					
準備費					
準備費		式		1	レベル2
準備費		式		1	レベル3
準備費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
共通仮設費					
純工事費					
現場管理費					
据付間接費					
据付工事原価					
設計技術費					
工事原価					
一般管理費率分額					
契約保証費					
一般管理費計					

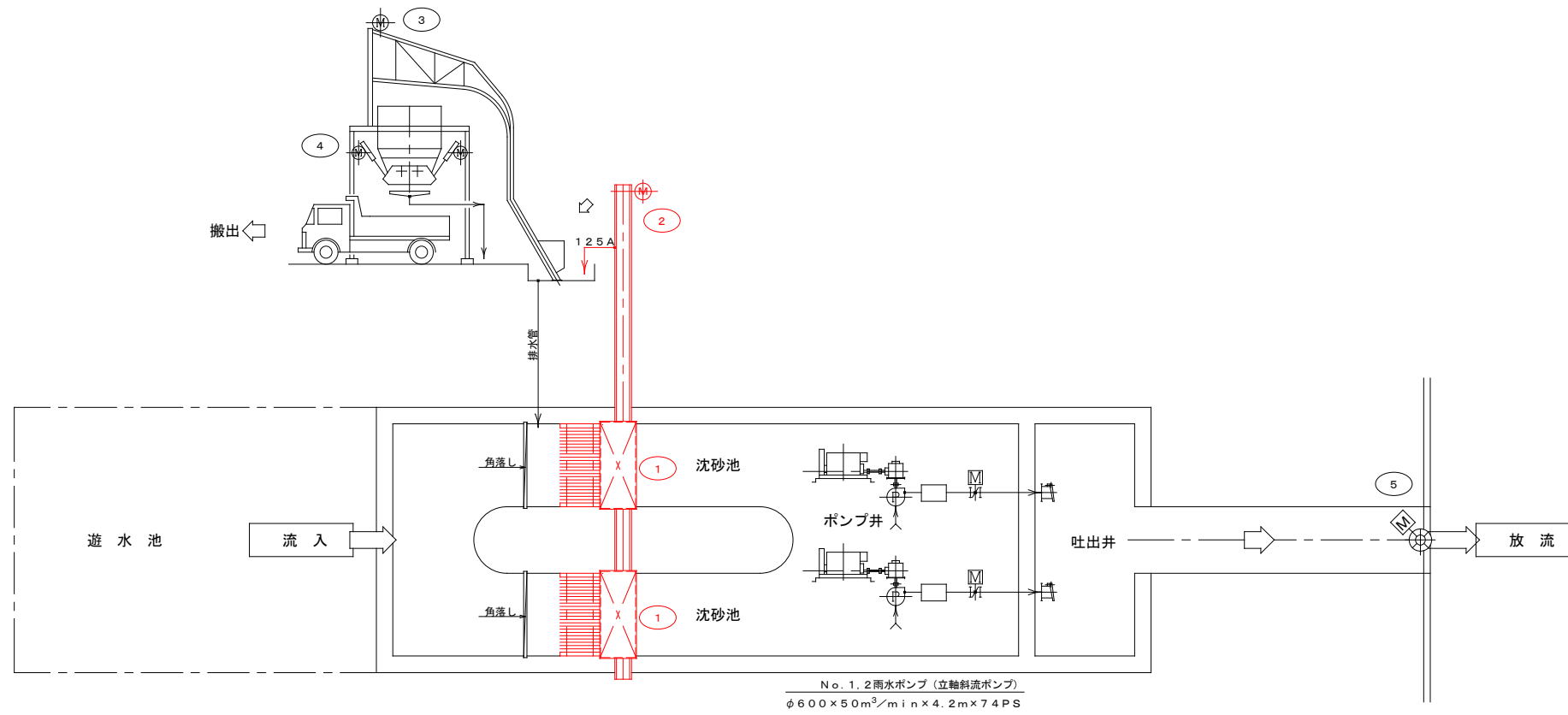
一般平面図 S=1:200



 :今回工事範囲を示す。

令和8年度	
工事名	味濃雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目
一般平面図	M-1
三原市	

沈砂池設備フローシート(更新) S=NON



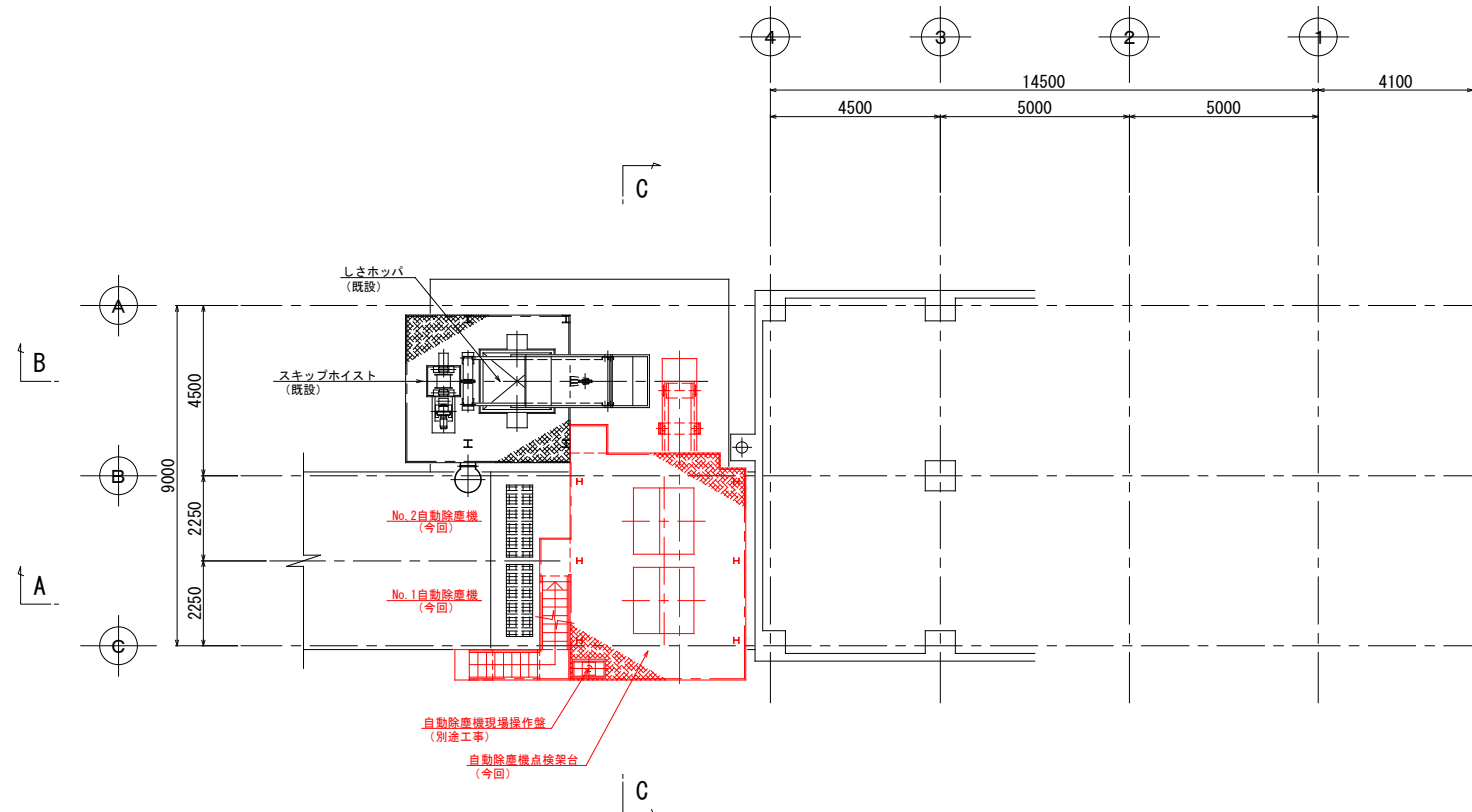
5	放流ゲート	ステンレス製角形電動ローラーゲート 1200mmW×1000mmH	0.75	1	1	-	
4	しきホッパ	角形電動カットゲート式 容量4m ³	0.75 ×2	1	1	-	
3	スキップホイス	ワイヤーロープ式 バケット容量0.2m ³ ×揚程約5m	2.2	1	1	-	
2	しき搬出機	トラフ形水平ベルトコンベヤ ベルト幅600mm×機長7,000mm	1.5	1	1	1	
1	No. 1~2 自動除塵機	間欠式 水路幅1,600mm×水路深2,400mm×目幅6.0mm	2.2	2	2	2	
番号	機器名称	機器仕様	電動機 KW	全体 数量	既設 数量	今回 数量	備考

着色部は今回工事範囲を示す。

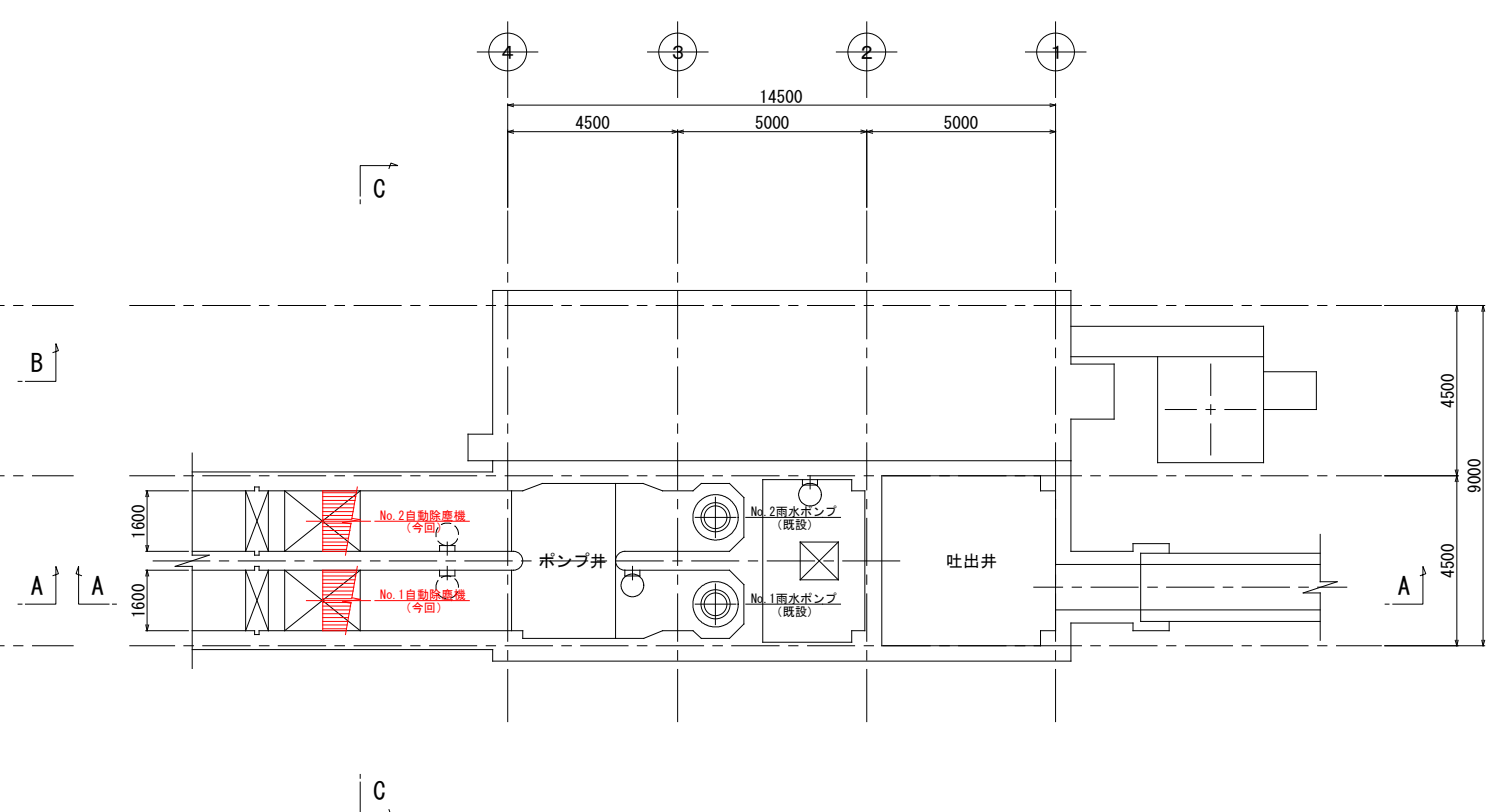
令和8年度	
工事名	味湯雨水排水ポンプ場除塵設備 更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目
沈砂池設備フローシート(更新)	M-2
三原市	

沈砂池設備平面図 S=1:100

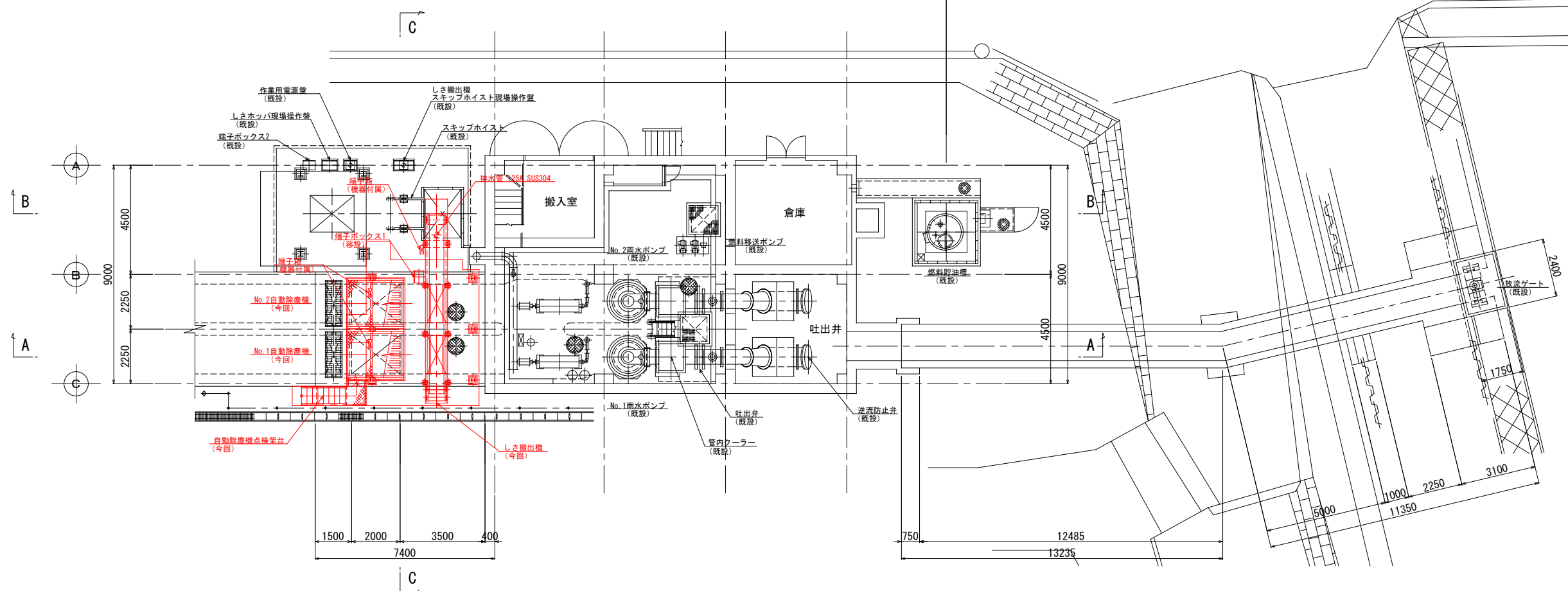
1FL(上部) 平面図



水路部 平面図



1FL(下部) 平面図

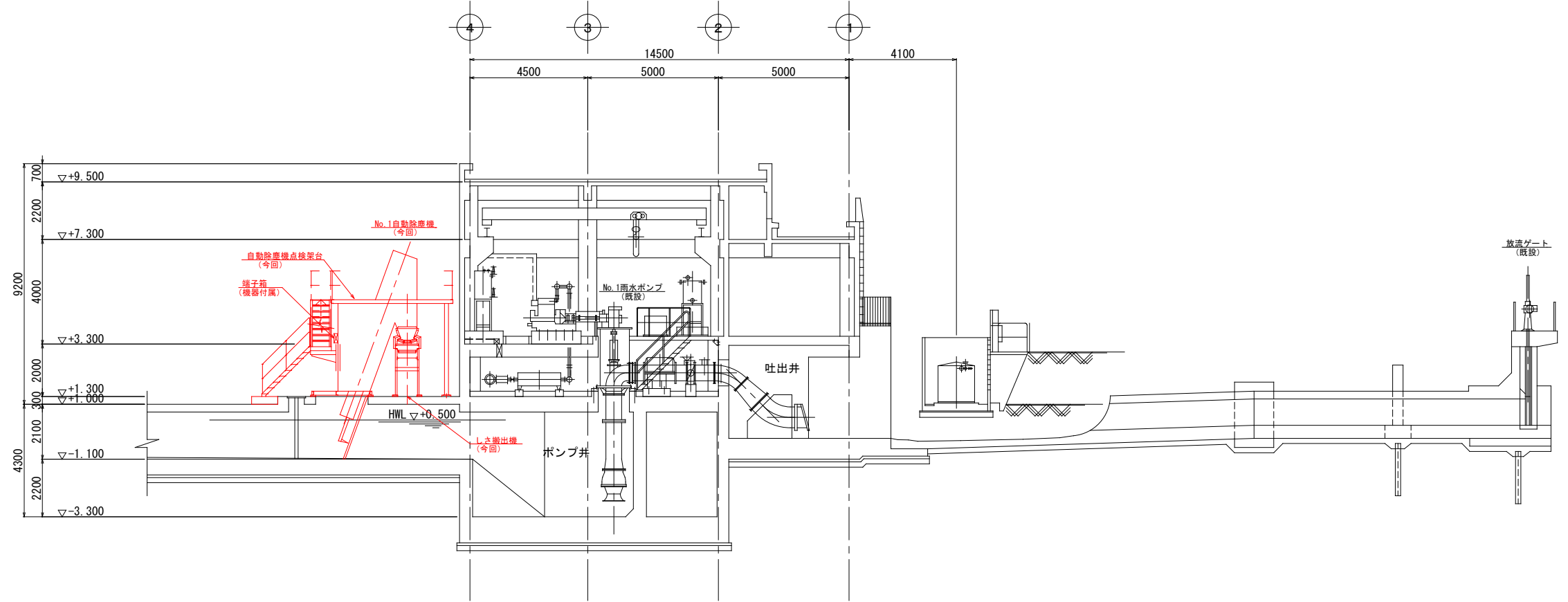


着色部は今回工事範囲を示す。

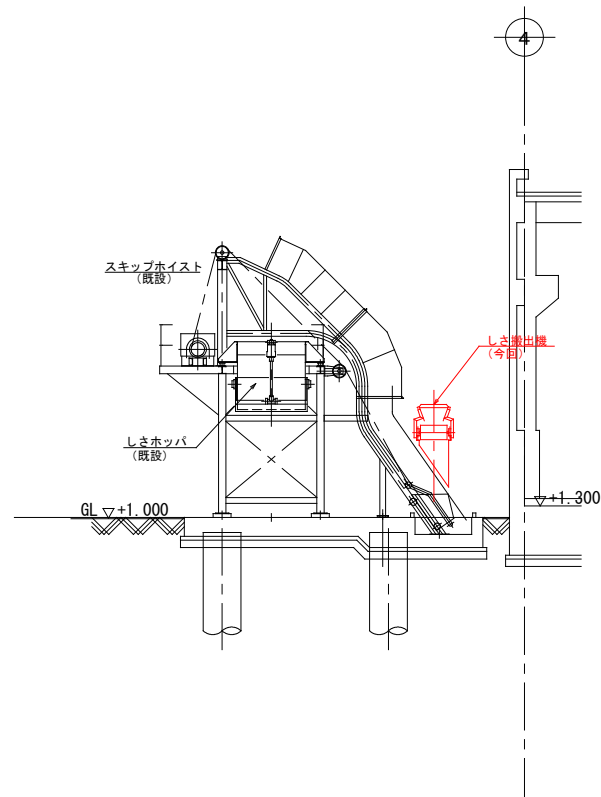
令和8年度	
工事名	味濃雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目
沈砂池設備平面図 M-3	
三原市	

沈砂池設備断面図 S=1:100

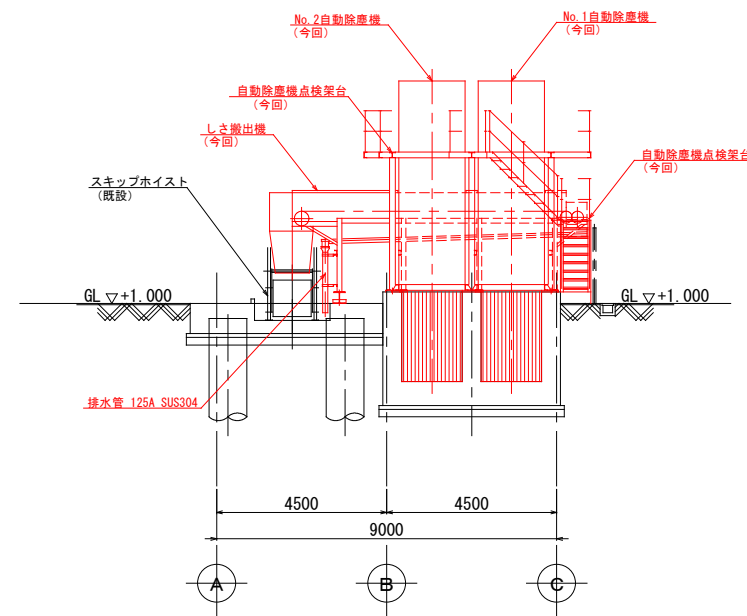
A - A 断面図



B - B 断面図



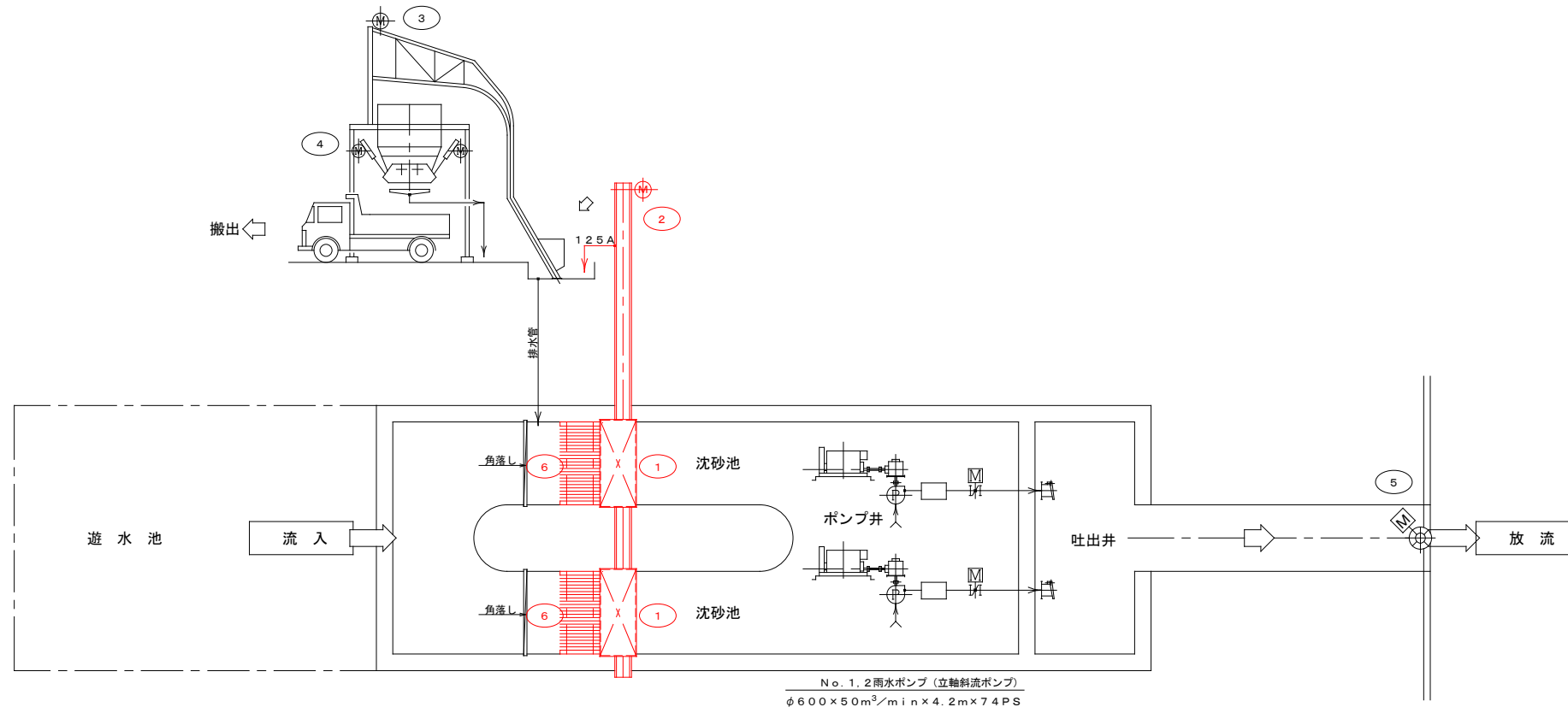
C - C 断面図



着色部は今回工事範囲を示す。

令和8年度	
工事名	味濃雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目
沈砂池設備断面図	M-4
三原市	

沈砂池設備フローシート(撤去) S=NON



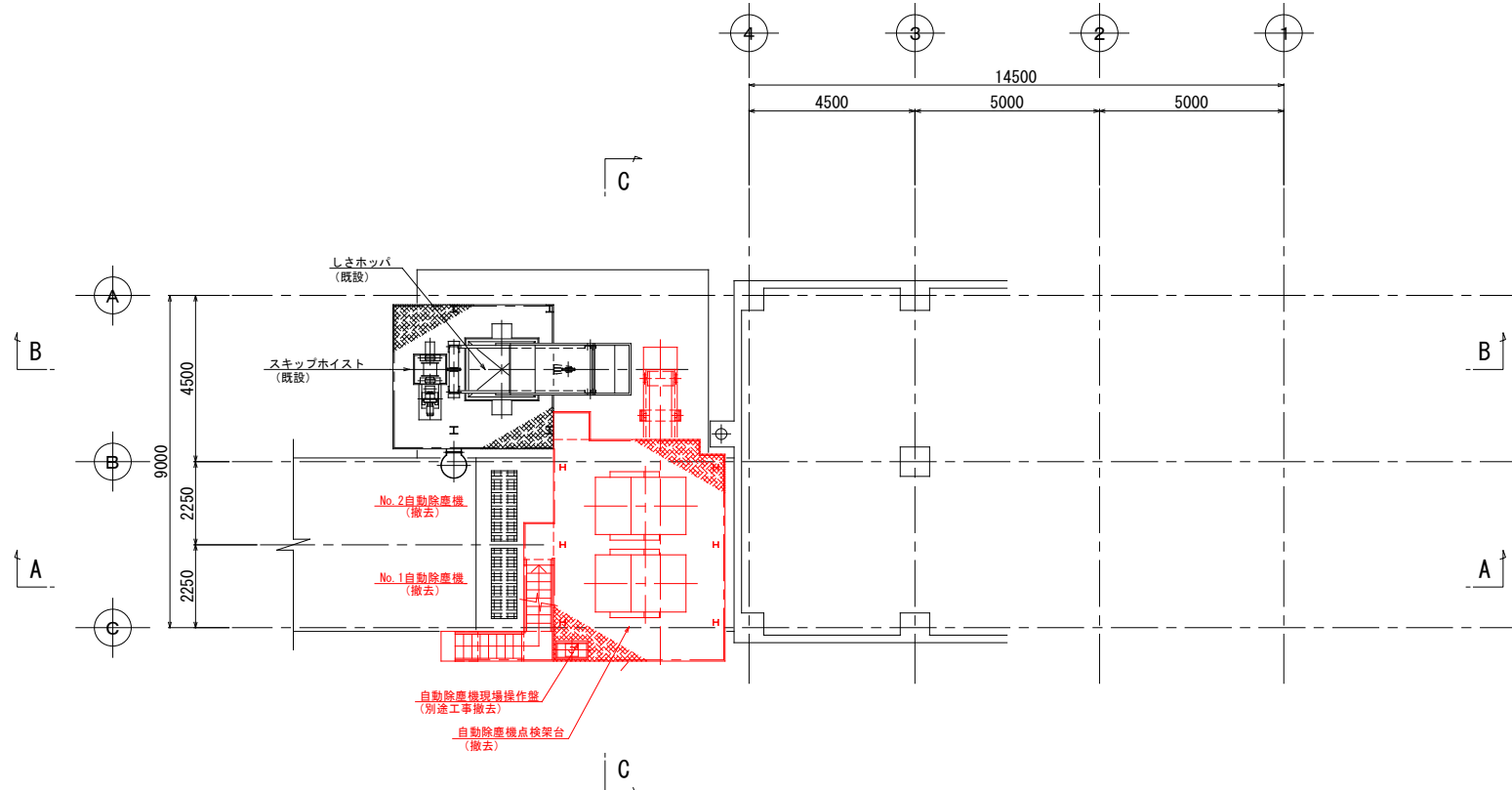
6	No. 1~2 細目スクリーン	バースクリーン 水路幅1,600mm×水路深2,400mm×目幅40mm	-	2	2	
5	放流ゲート	ステンレス製角形電動ローラーゲート 1,200mmW×1,000mmH	0.75	1	-	
4	しきホッパ	角形電動カットゲート式 容量4m ³	0.75 ×2	1	-	
3	スキップホイス	ワイヤーロープ式 バケット容量0.2m ³ ×揚程約5m	2.2	1	-	
2	しき搬出機	トラフ形水平ベルトコンベヤ ベルト幅600mm×機長7,000mm	1.5	1	1	
1	No. 1~2 自動除塵機	間欠式 水路幅1,600mm×水路深2,400mm	2.2	2	2	
番号	機器名称	機器仕様	電動機 KW	既設 数量	撤去 数量	備考

着色部は今回工事範囲を示す。

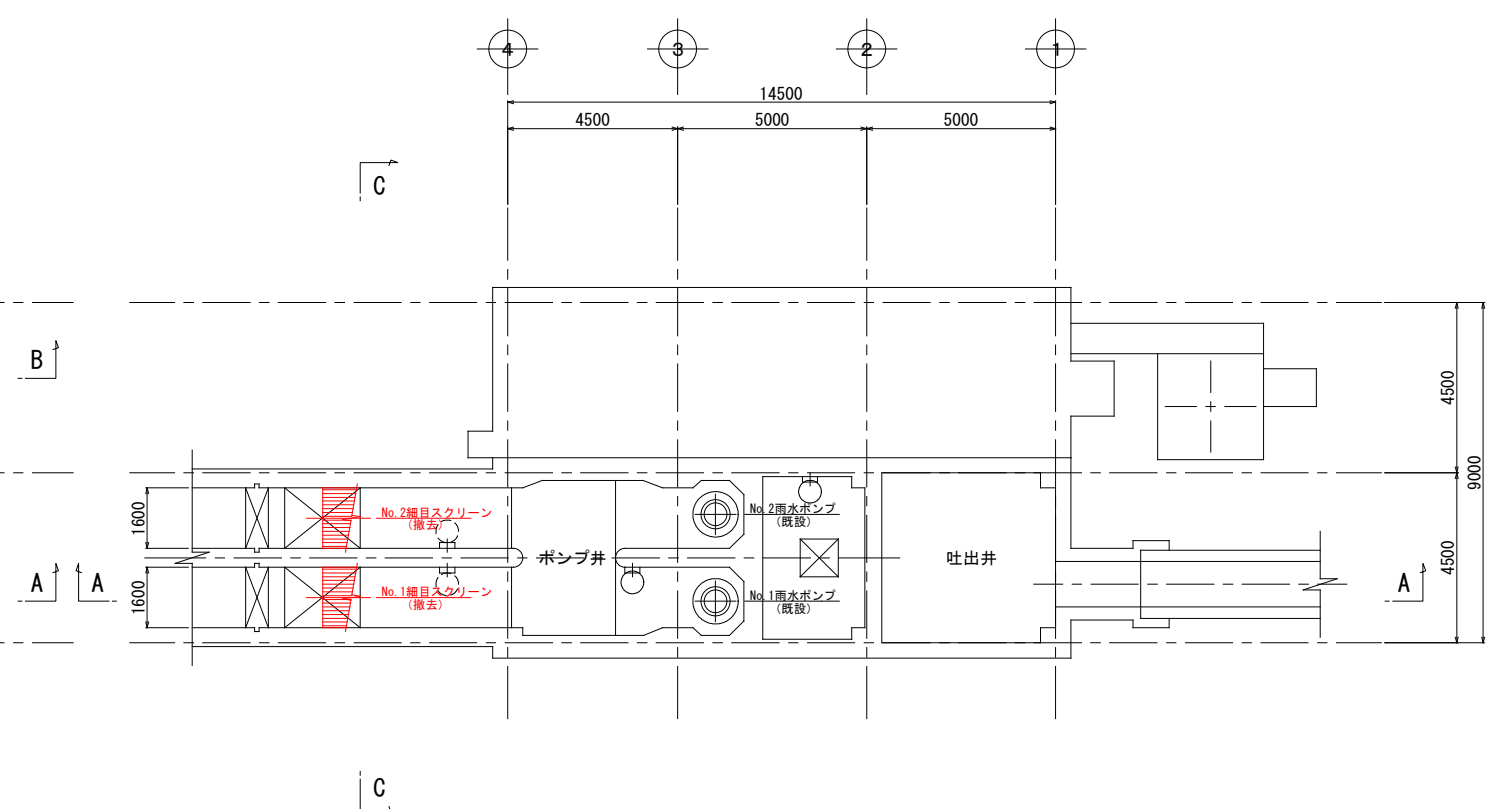
令和8年度	
工事名	味湯雨水排水ポンプ場除塵設備 更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目
沈砂池設備フローシート(撤去)	M-5
三原市	

沈砂池設備平面図(撤去) S=1:100

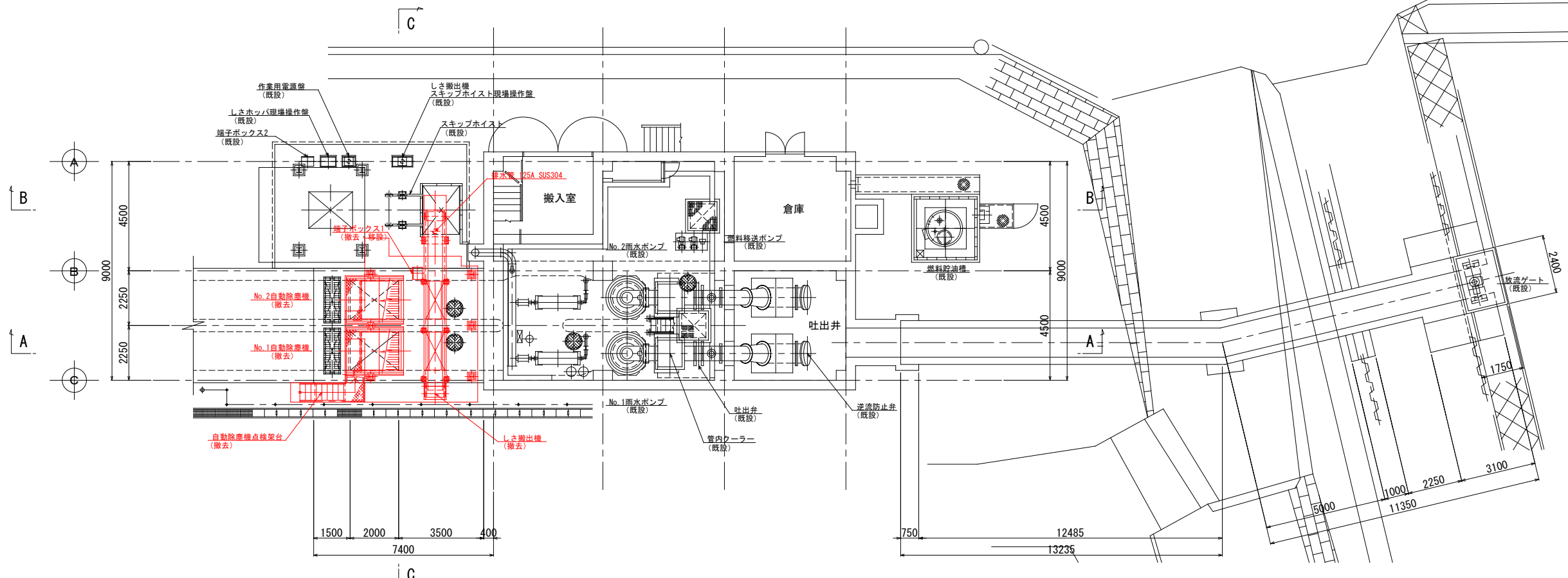
1FL(上部) 平面図



水路部 平面図



1FL(下部) 平面図

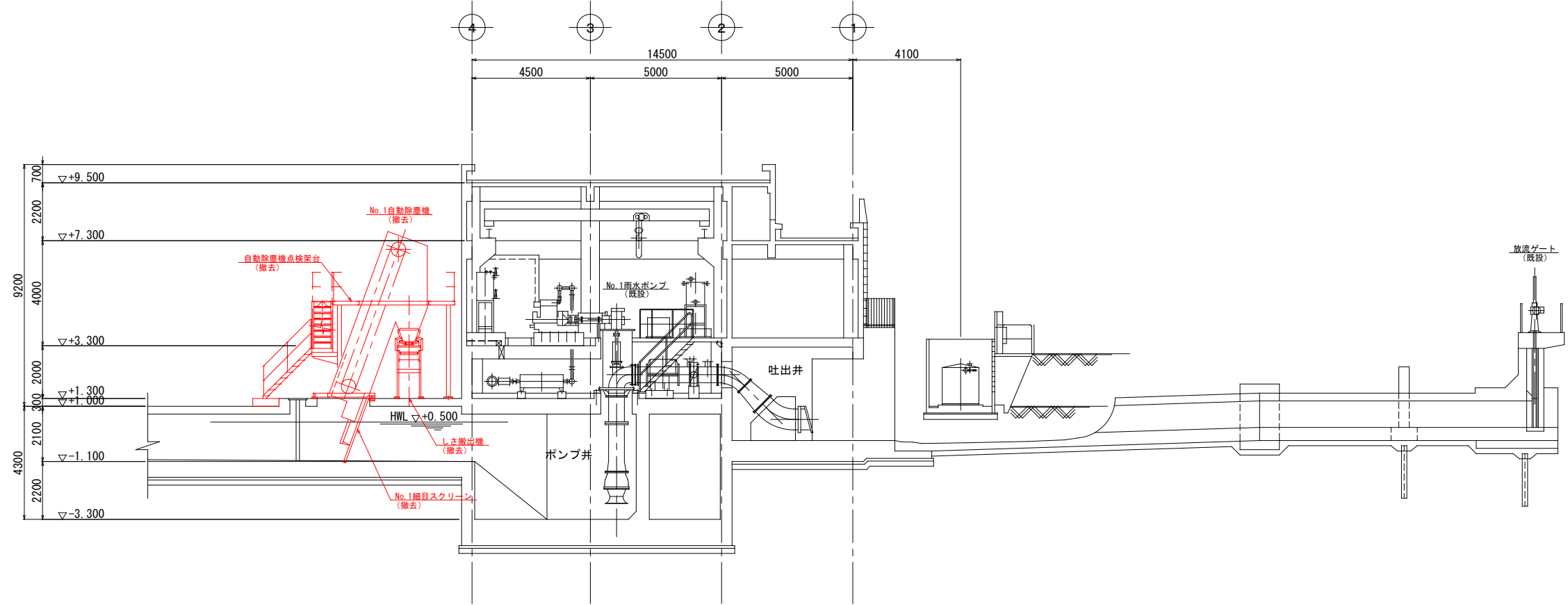


着色部は今回工事範囲を示す。

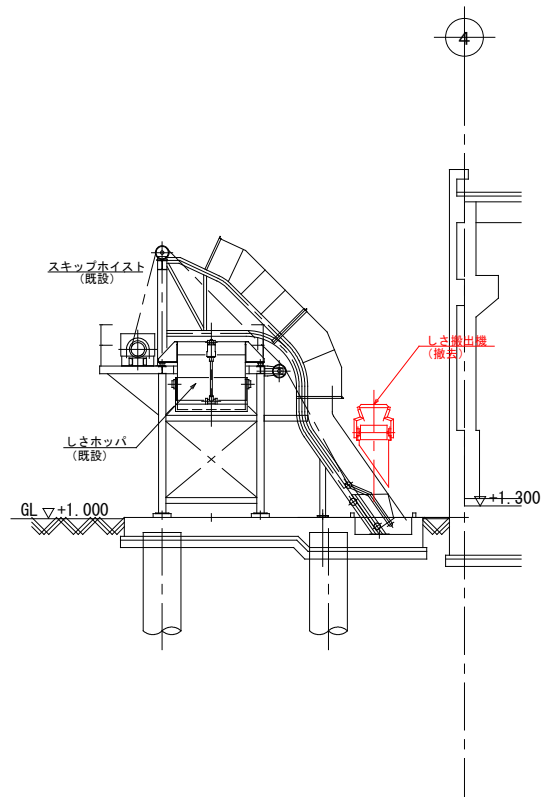
令和8年度	
工事名	味濃雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目
沈砂池設備平面図(撤去)	M-6
三原市	

沈砂池設備断面図(撤去) S=1:100

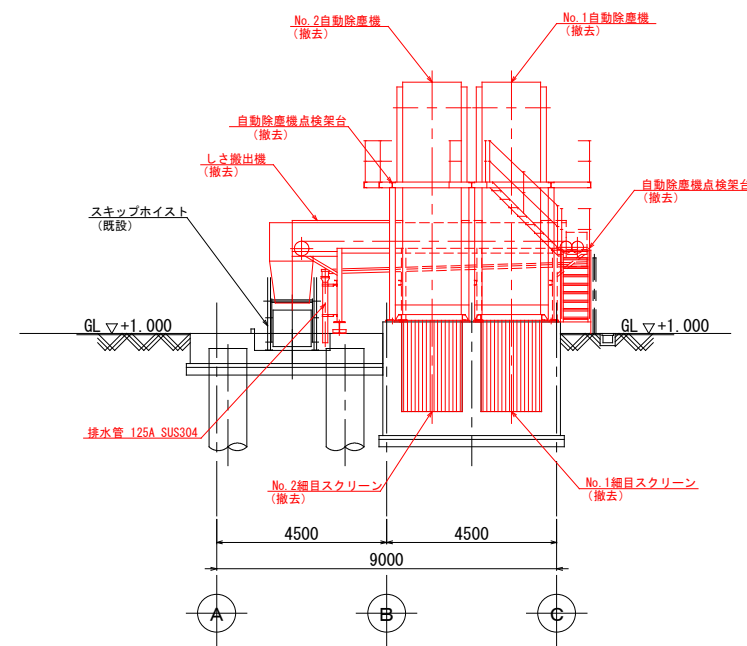
A - A 断面図



B - B 断面図



C - C 断面図

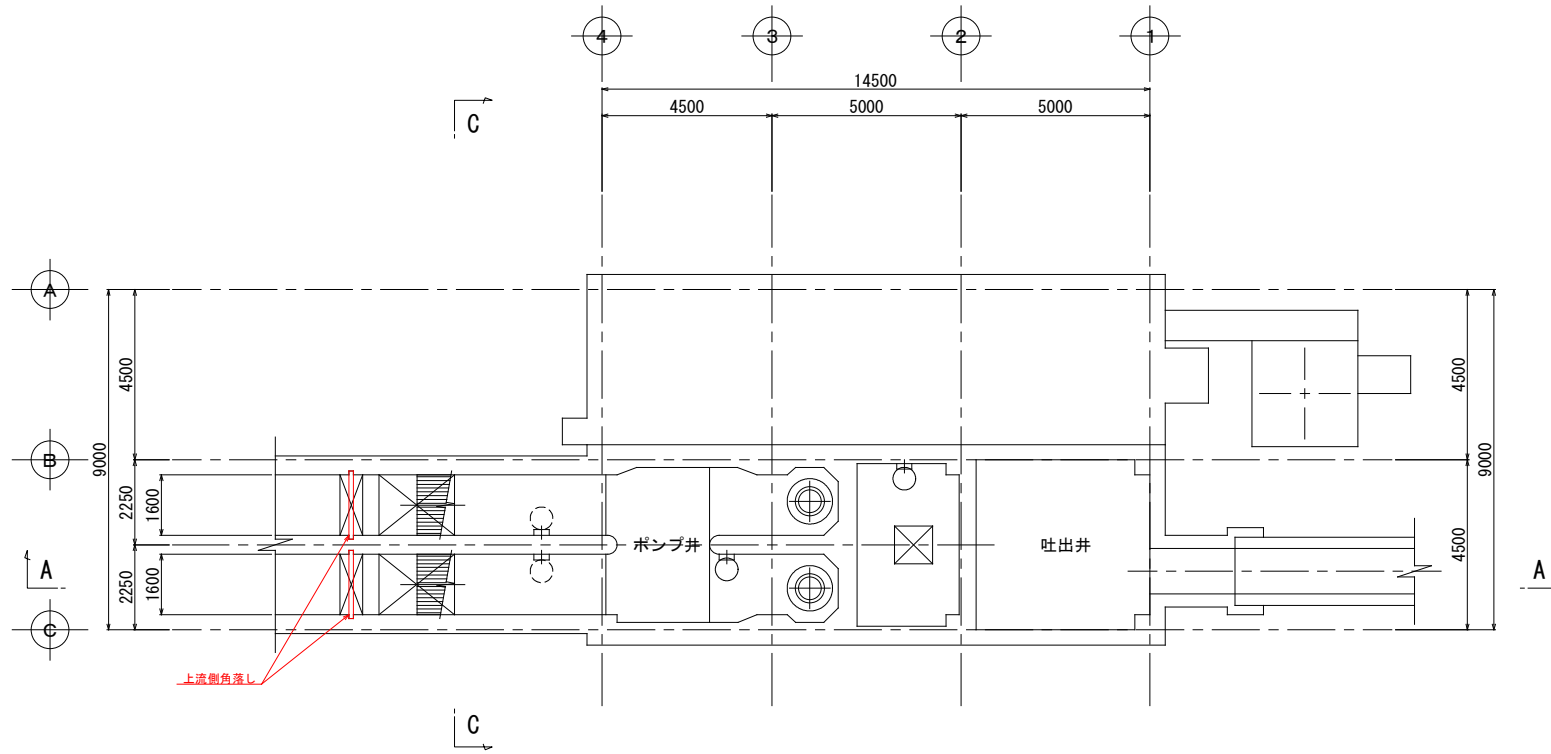


着色部は今回工事範囲を示す。

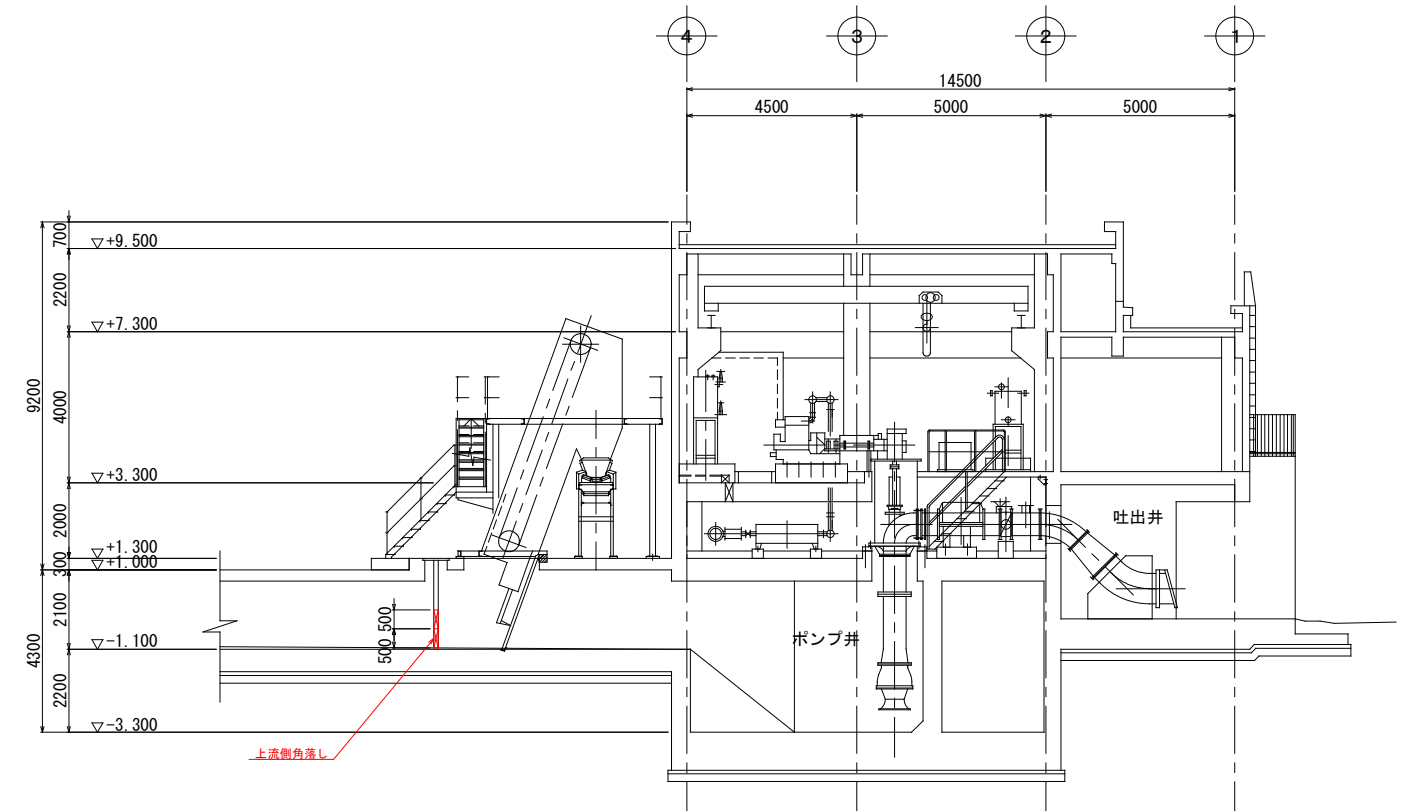
令和8年度	
工事名	味濃雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目
沈砂池設備断面図(撤去)	M-7
三原市	

仮設計画図 S=1:100

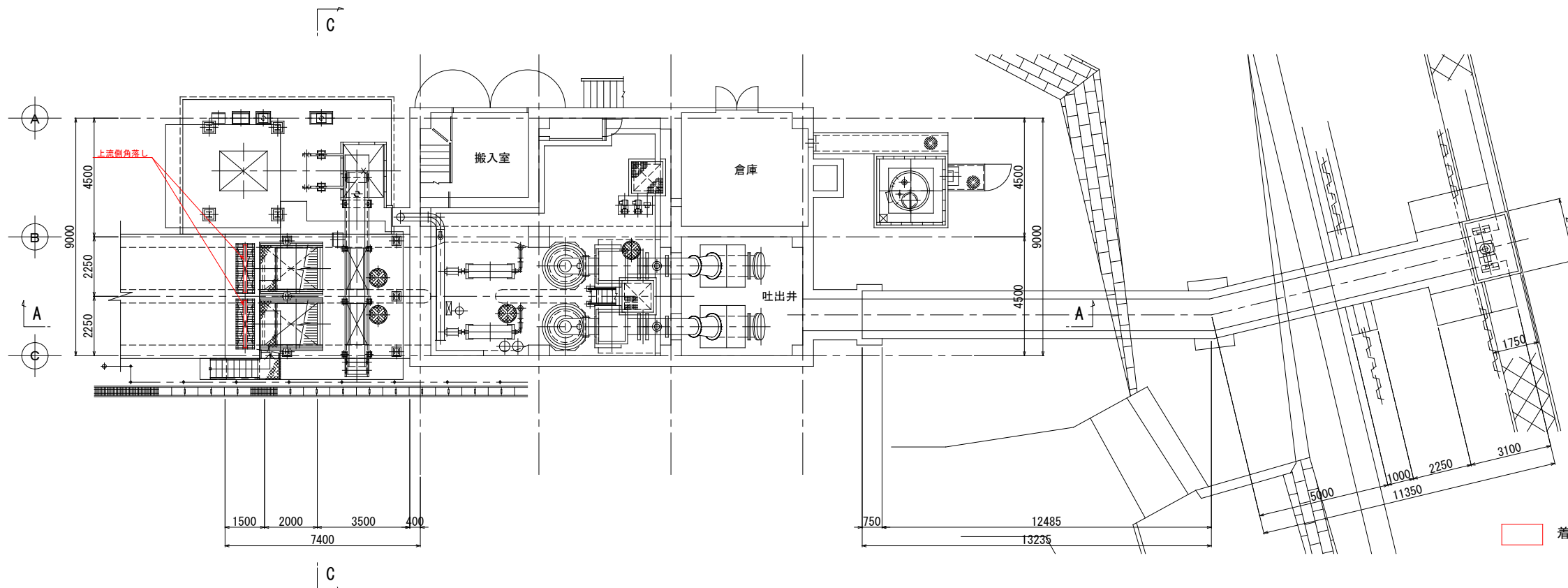
水路部 平面図



A - A 断面図



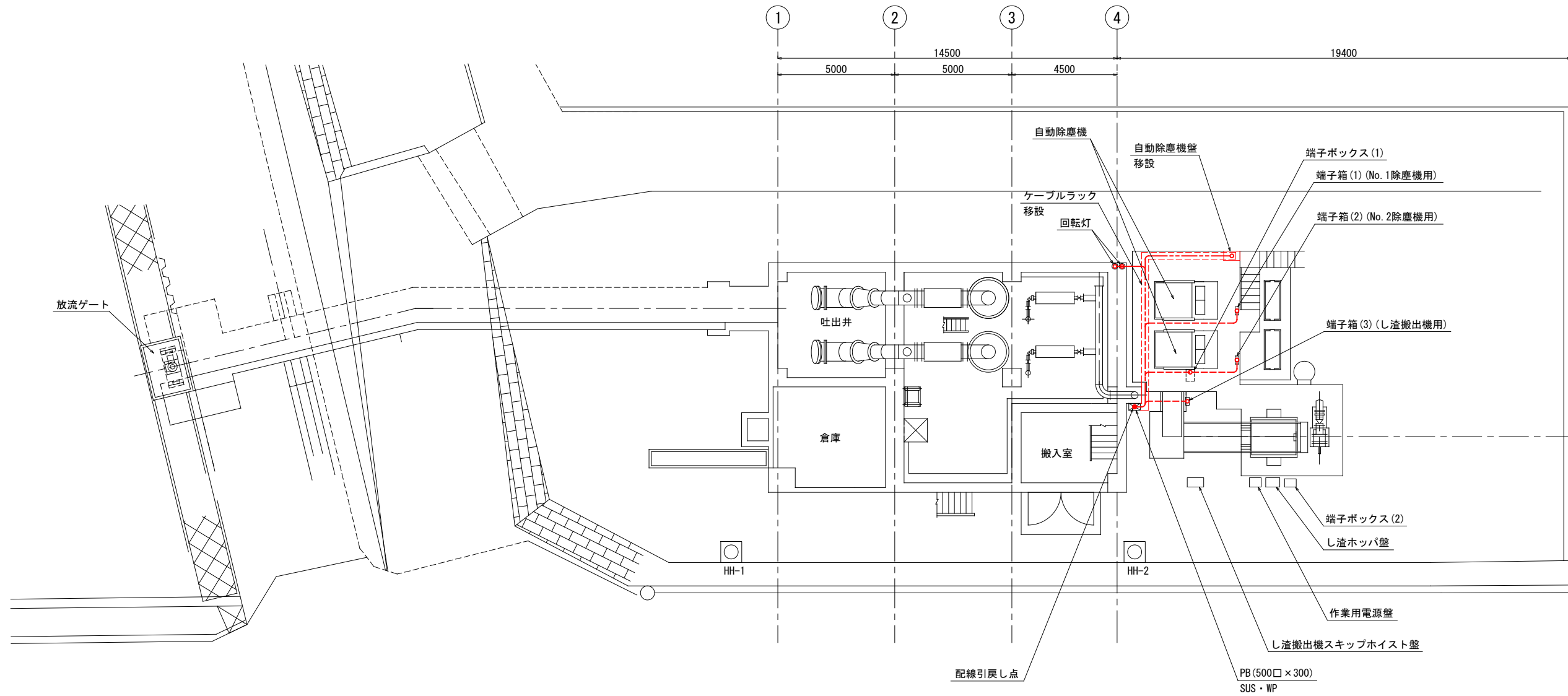
1FL(下部) 平面図



着色部は今回工事範囲を示す。

令和8年度	
工事名	味濃雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目
仮設計画図	M-8
三原市	

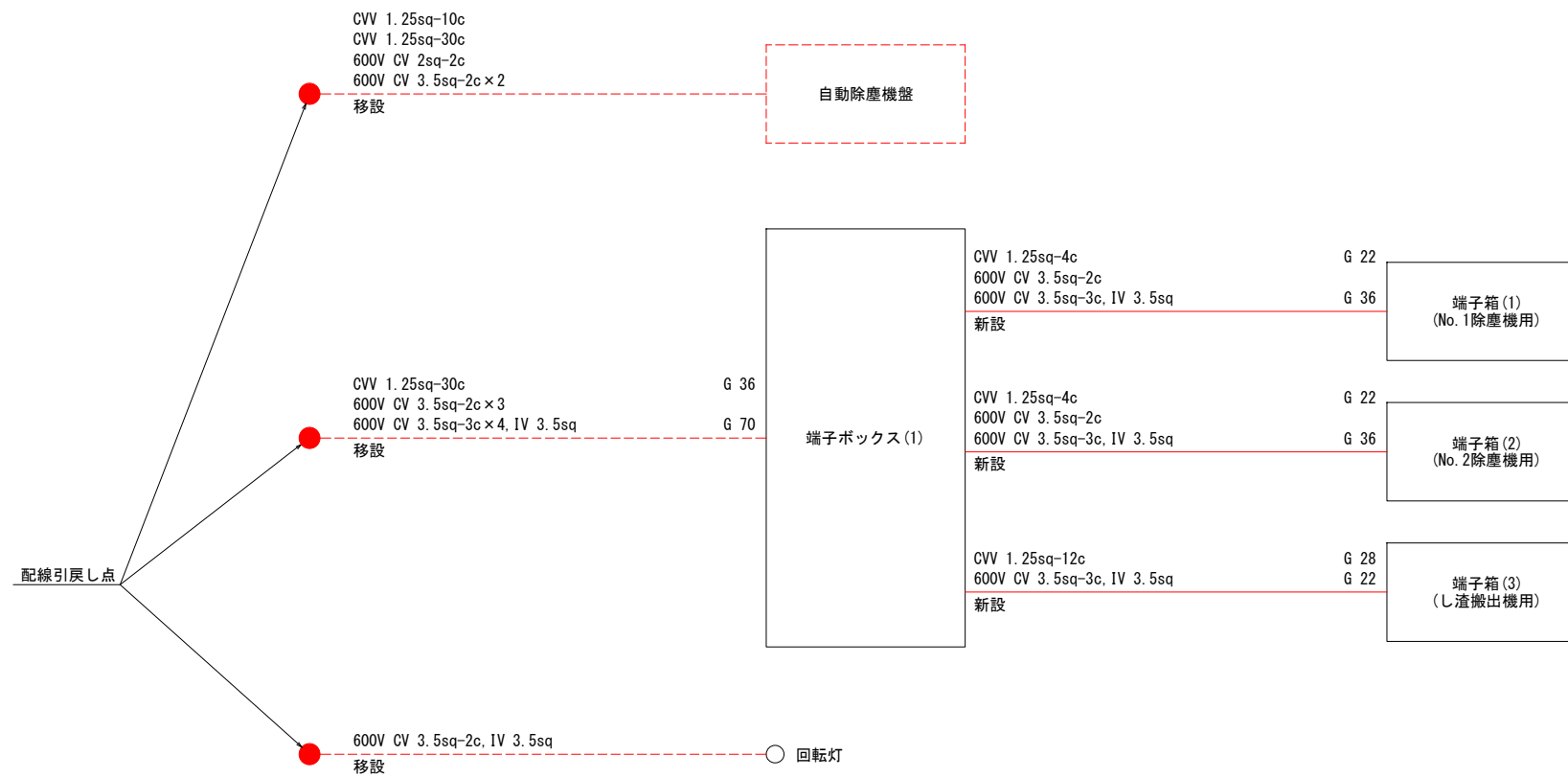
屋外配線経路図(更新) S=1:100



- 注記
- 1. は、今回移設範囲を示す。
 - 2. は、ラック配線を示す。
 - 3. は、露出配線を示す。

令和8年度	
工事名	味潟雨水排水ポンプ場除塵設備 更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目
屋外配線経路図(更新) M-9	
三原市	

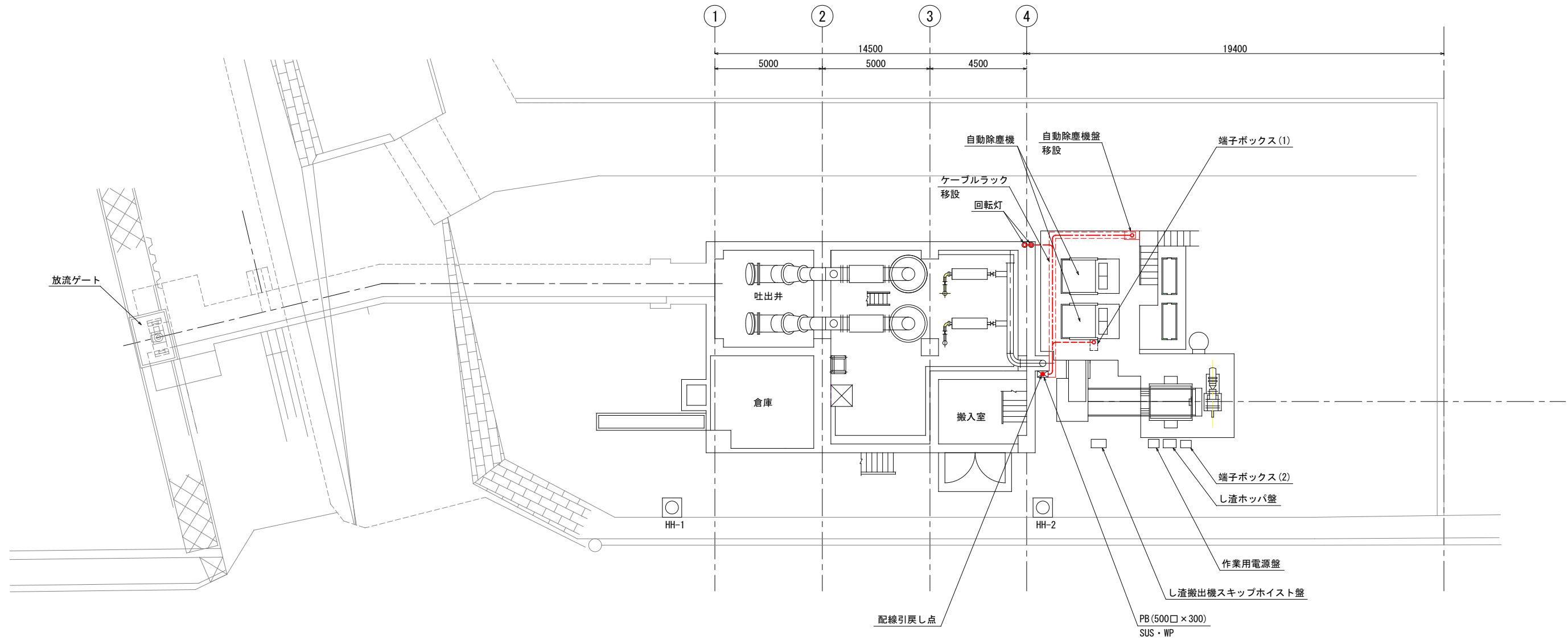
配線系統図(更新) S=NON



注記
 1. [---] は、今回移設範囲を示す。
 2. [---] は、今回新設を示す。

令和8年度	
工事名	味噌雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目
配線系統図(更新)	M-10
三原市	

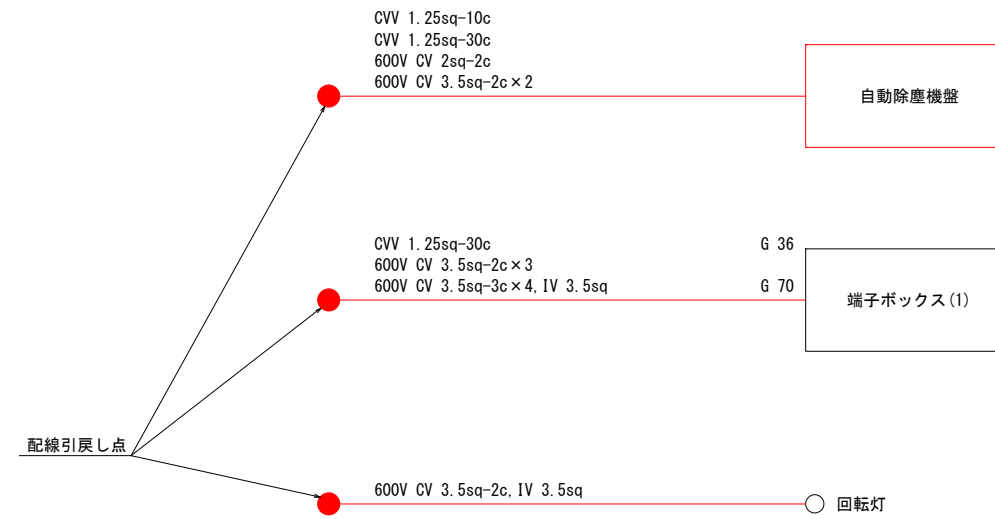
屋外配線経路図(撤去) S=1:100



- 注記
- 1. は、今回移設範囲を示す。
 - 2. は、ラック配線を示す。
 - 3. は、露出配線を示す。

令和8年度	
工事名	味鴻雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目
屋外配線経路図(撤去) M-11	
三原市	

配線系統図(撤去) S=NON



注記
1. は、今回移設範囲を示す。

令和8年度	
工事名	味噌雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目
配線系統図(撤去)	M-12
三原市	

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-08.06.01(0) F 下水道機械設備		≪凡例≫ Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代	
復興補正区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 09 閉所型・月単位 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工 (機器費)					Y1800F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y28003F レベル2
ポンプ設備工	1	式			Y280031F レベル3
設計技術費対象	1	式			Y48003101F レベル4
機器費	1	式			V0001 00
	1	式			単第0 -0001 表
機器費					
設備工	1	式			Y1900F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y29003F レベル2

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
輸送費	1	式			Y390031F レベル3
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 70km 製品長 12m以内	1	式			S100007 00 単第0 -0002 表
材料費	1	式			Y390032F レベル3
直接材料費	1	式			Y49003201F レベル4
直接材料費	1	式			V0003 00
補助材料費	1	式			単第0 -0005 表 Y49003202F レベル4
補助材料費 (率分)	1	式			SY49202F 00 機械設備 単第0 -0006 表
労務費	1	式			Y390033F レベル3
一般労務費	1	式			Y49003301F レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般労務費	1	式			V0004 00 単第0 -0007 表
機械設備据付労務費	1	式			Y49003302F レベル4
機械設備据付労務費	1	式			V0005 00 単第0 -0008 表
複合工費	1	式			Y390034F レベル3
土工	1	式			Y49003403F レベル4
複合工	1	式			V0006 00 単第0 -0009 表
直接経費	1	式			Y390035F レベル3
機械経費	1	式			Y49003503F レベル4
機械経費 (率分)	1	式			SY49503F 00 機械設備 単第0 -0015 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設費	1	式			Y390036F レベル3
仮設費 (率分) ポンプ設備工	1	式			SY396F 00 機械設備 単第0 -0016 表
直接工事費					
準備費					Z0002
準備費	1	式			YZ902 レベル2
準備費	1	式			YZ902001 レベル3
準備費	1	式			YZ902001001 レベル4
処分費	1	式			V0009 00
共通仮設费率分	1	式			単第0 -0017 表 Z0010

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
** 共通仮設費 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
据付間接費 計算情報…… 対象額…… 率……					
** 据付工事原価 **					
設計技術費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
** 工事原価 **					
一般管理费率分類 計算情報…… 対象額…… 率……		機器補正率…			前払補正率… 対象額合計…

施工単価表

頁0 -0012

直接材料費

V0003

単第0 -0005 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製加工品 (屋外・架台)	3,780	kg			
鋼製加工品塗装	144	m ²			
ステンレス鋼鋼管 SUS304TP Sch20 200A	0.15	m			
ステンレス鋼鋼管 SUS304TP Sch20 125A	1.6	m			
ステンレス鋼管付属材料	25	%			#01
低圧ケーブル 600V CV 3.5sq-3c	37	m			
低圧ケーブル 600V CV 3.5sq-2c	22	m			
制御ケーブル CVV 1.25sq-12c	14	m			
制御ケーブル CVV 1.25sq-4c	22	m			
その他電線 IV 3.5sq	33	m			
ケーブル付属材料	1.5	%			#02
電線管類 GP 36mm(露出)	20	m			

施工単価表

頁0 -0018

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0010 表

小型構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

41.15%

材料構成比:

58.85%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

36,756.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材20(25) W/C(60%), 種別(高炉)	58.85%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠 SPK25040159 単第0 -0011 表 1
 一般型枠 小型構造物 m2 当り
 機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 9,147.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0022

モルタル練
普通

SPK25040158

単第0 -0014 表

1 m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 82.04% 材料構成比: 17.96% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 102,720.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	12.48%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.48%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬 SPK25040155 単第0 -0018 表
 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超) 1 m3 当り
 機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,527.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

味瀉雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事(8-1)

【機械工事分】

数量計算書

機 器 等 据 付 工

(設備名)

機 器 名 称	数量	単位重量 (ton)	類別	歩 掛			据 付 工				輸送費用重量 (ton)		備 考
				歩掛	補正率	補正後歩掛	第1～6類	第7類	電 工	技術者	一般品	特大品	
No. 1～2自動除塵機	2	8.600	6	64.50			129.00					17.200	歩掛=7.5x
しき搬出機	1	2.400	6	18.00			18.00					2.400	歩掛=7.5x
鋼製架台	1式	3.780	7	18.52				18.52			—	—	歩掛=4.9x
合 計							147.00	18.52				19.600	→ 輸送費用重量
機械設備据付工 (×0.9)							132.30	/	/	/	/	132.30 人	ton (一般品)
普通作業員 (×0.1)							14.70	/	/	/	/	14.70 人	19.60 ton (特大品)
設備機械工 (×1.0)							/	18.52	/	/	18.52 人		
電 工							/	/	/	/	人		
技 術 者							/	/	/	/	人		
							/	/	/	/			

小配管据付工

(設備名)

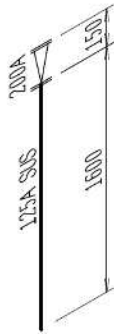
ステンレス鋼鋼管

口 径	屋 内 配 管					屋 外 配 管					埋 設 配 管					既 設 管 廊 配 管				
	設計数量 (m)	歩掛	補正率	補正後 歩掛	配管工	設計数量 (m)	歩掛	補正率	補正後 歩掛	配管工	設計数量 (m)	歩掛	補正率	補正後 歩掛	配管工	設計数量 (m)	歩掛	補正率	補正後 歩掛	配管工
15		0.17					0.13					0.07					0.17	1.3	0.22	
20		0.20					0.16					0.09					0.20	1.3	0.26	
25		0.24					0.19					0.11					0.24	1.3	0.31	
32		0.29					0.23					0.12					0.29	1.3	0.37	
40		0.35					0.28					0.15					0.35	1.3	0.45	
50		0.42					0.33					0.19					0.42	1.3	0.54	
65		0.53					0.42					0.21					0.53	1.3	0.68	
80		0.63					0.50					0.24					0.63	1.3	0.81	
100		0.78					0.62					0.35					0.78	1.3	1.01	
125		0.96				1.60	0.76			1.21		0.45					0.96	1.3	1.24	
150		1.14					0.91					0.54					1.14	1.3	1.48	
200		1.50				0.15	1.20			0.18		0.75					1.50	1.3	1.95	
250		1.86					1.48					1.00					1.86	1.3	2.41	
300		2.22					1.77					1.27					2.22	1.3	2.88	
350		2.58					2.20					1.50					2.58	1.3	3.35	
小 計					小 計					1.39	小 計					小 計				

配管工 合計

1.39 人

配管場所は屋外配管とする
SUSはSUS304TP Sch20Sとする



小配管

SUS304TP Sch20S [屋外：管材+支持材]
200A 0.15 m
125A 1.60 m

No	スケルトン名称
1	排水管

鋼製架台計算書

(設備名)

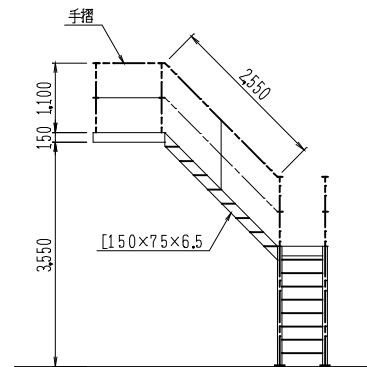
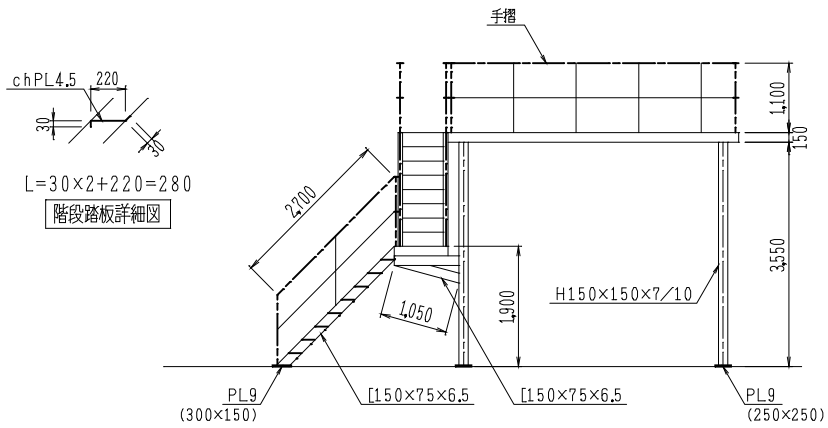
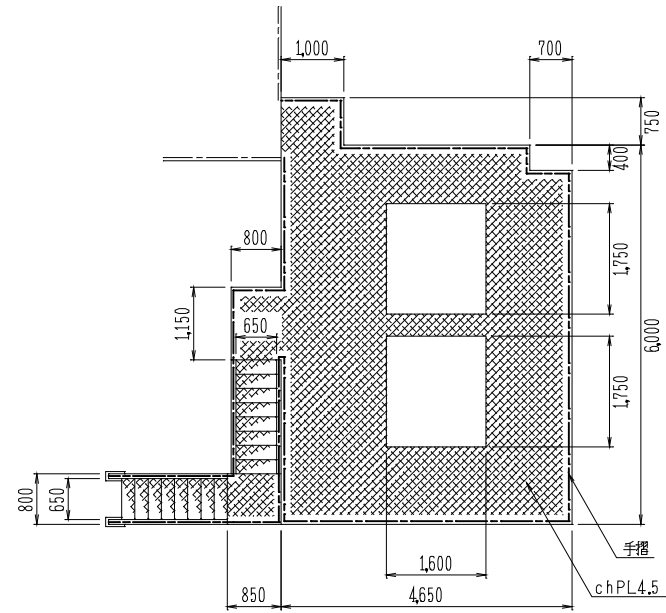
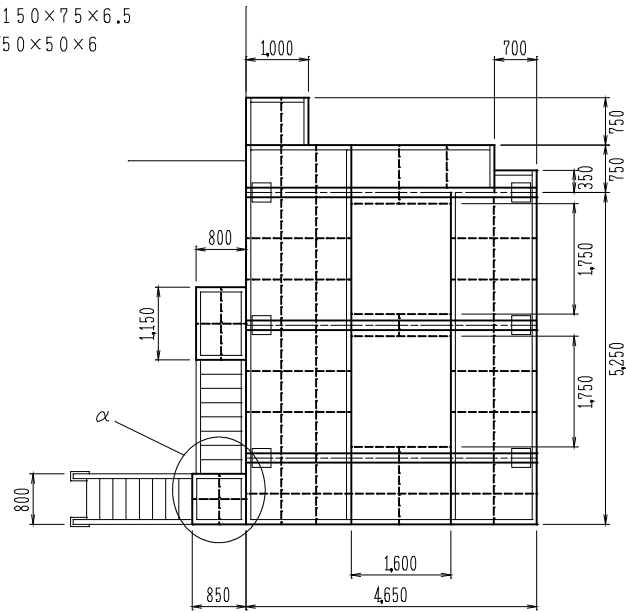
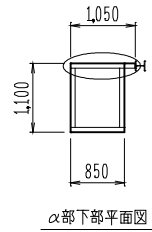
名 称	数量	略 図	算 出 式	単位数量	小 計	加工度
No. 1~2自動除塵機点検架台 (K-1)	1	※屋外	H150×150×7/10 [SS400] (4.65×3+3.55×6)×31.1kg/m	1096.28 kg	1096.28 kg	
			[150×75×6.5 [SS400] (4.65×2+1.0+0.8+5.25×4+0.35+0.75×5 +1.15×2+0.85×2+0.8×2+1.05+0.85+1.1×2 +1.05+2.7×2+2.55×2)×18.6kg/m	1068.57 kg	1068.57 kg	
			∠50×50×6 [SS400] (4.65×5+0.8+5.25×4-1.75×2+0.75×5+1.15 +0.85+0.8)×4.43kg/m	213.08 kg	213.08 kg	
		略図別紙参照	PL9 [SS400] (0.3×0.15×2+0.25×0.25×6)×70.65kg/m ²	32.85 kg	32.85 kg	
			chPL4.5 [SS400] (4.65×6.0+1.0×0.75+0.8×1.15-0.7×0.4 -1.6×1.75×2+0.85×0.8+0.28×0.65×16) ×36.99kg/m ²	1009.16 kg	1009.16 kg	
			手摺(1100H)傾斜部 ※単位重量添付資料参照 (2.7×2+2.55×2)×8.48kg/m	89.04 kg	89.04 kg	
			手摺(1100H)水平部 ※単位重量添付資料参照 (4.65×2+0.8×2+5.25×2+0.75+1.15 +0.85×2+0.8-0.8)×10.84kg/m	271.00 kg	271.00 kg	
			[SS400] 計		3779.98 kg	

鋼製架台計算書

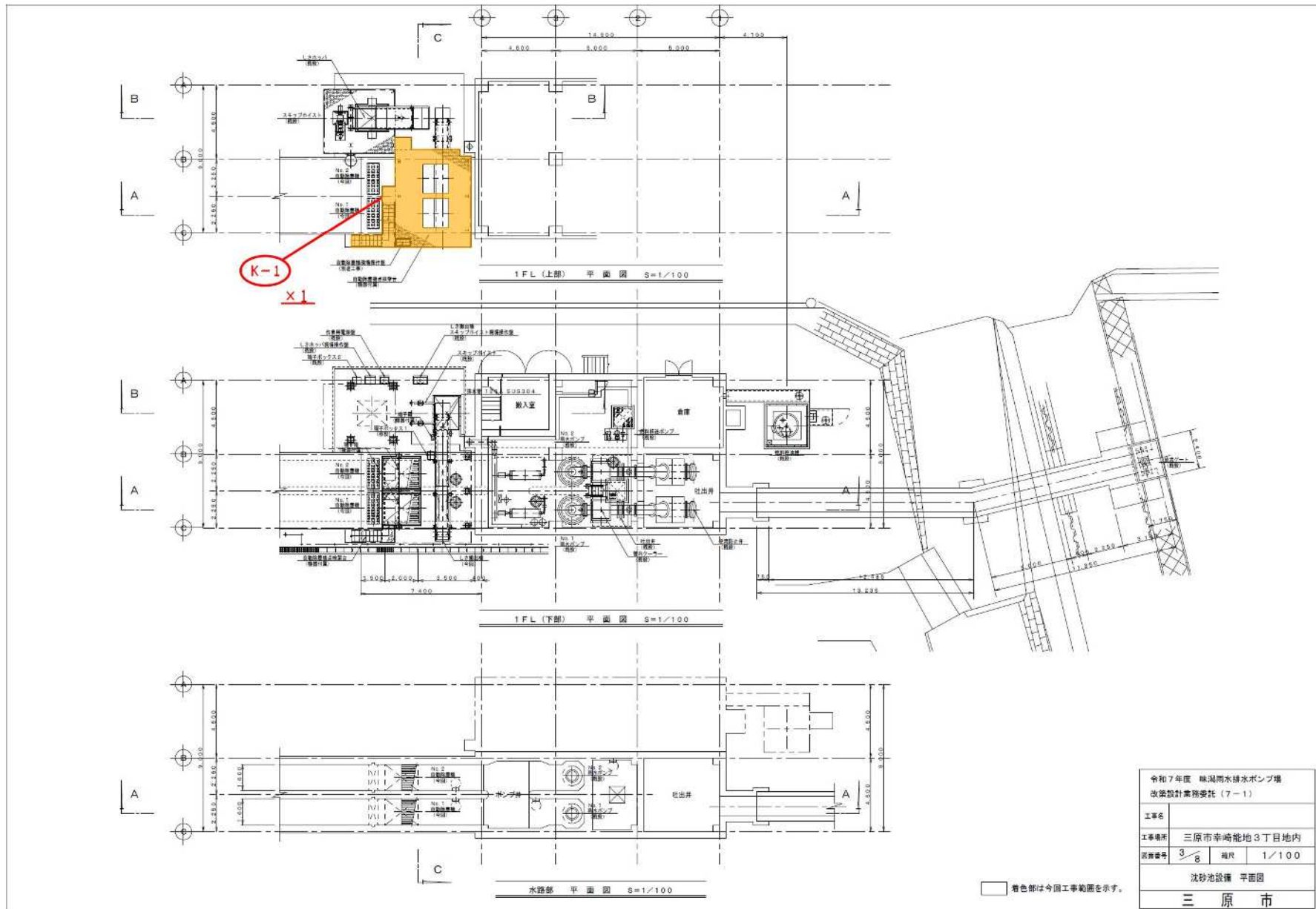
(設備名)

名称：No. 1~2自動除塵機点検架台

- ≡≡≡ H150×150×7/10
- ≡≡ [150×75×6.5
- ∠50×50×6



鋼製架台位置図



複 合 工 及 仮 設 工 集 計 表

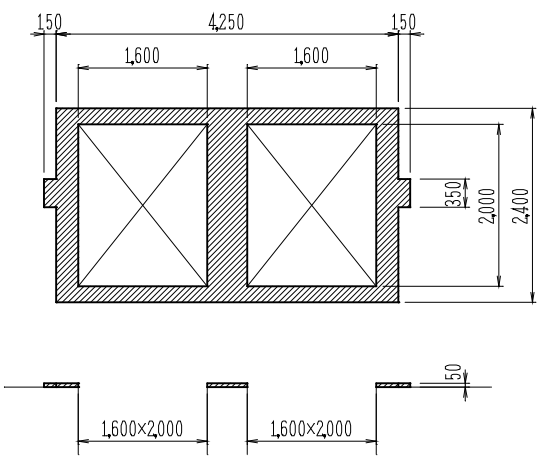
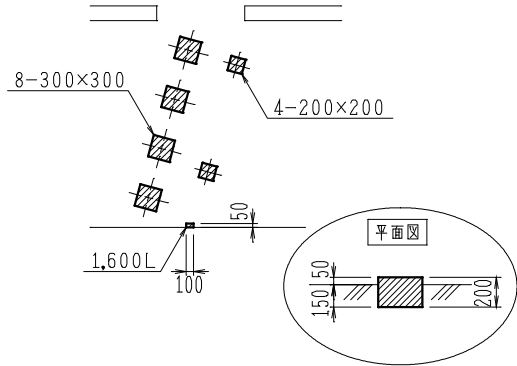
(設備名)

No.	コンクリート工					モルタル工				鉄筋工	型枠工				はつり工		ガラ処分工						
	鉄筋コンクリート工		無筋コンクリート工			モルタル仕上工			充 填						鉄筋	型枠				鉄筋	無筋	鉄筋	無筋
	24N/mm ² m ³		18N/mm ² m ³		捨て 18N/mm ² m ³	厚さ20mm 配合1:2 m ²	厚さ20mm 配合1:3 m ²	防水厚さ20mm 配合1:3 m ²															
1			0.368				1.920				1.600												
2			0.195				5.320				1.415												
3			0.025				0.900				0.400												
4			0.240				1.580				0.780												
5			0.018				0.576				0.210												
撤去																0.821		0.821					
計			0.846				10.296				4.405					0.821		0.821					
設計 数量			0.85				10.3				4.41					0.82		0.82					

複合工及仮設計算書

(設備名)

No.	名称	数量	コンクリート工	無筋	型	0.3×3×0.05×8+0.2×3×0.05×4						
No. 1	名称 No. 1~2自動除塵機基礎	数量 2	コンクリート工	無筋	型	0.3×3×0.05×8+0.2×3×0.05×4	1.600 m ²					
								0.3×0.3×0.2×8+0.2×0.2×0.2×4	18N/mm ²	枠	0.3×3×0.05×8+0.2×3×0.05×4	
								+0.1×0.05×1.6 = 0.184			+(0.1+0.05×2)×1.6 = 0.800	
						0.184×2 = 0.368	0.368 m ³	工	0.800×2 = 1.600	1.600 m ²		
			モルタル仕上	厚さ 20 mm 配合 1 : 3	はつり工	0.3×4×0.05×8+0.2×4×0.05×4	1.920 m ²					
						+ (0.1+0.05×2)×1.6 = 0.960						
						0.960×2 = 1.920					m ³	
			モルタル充填				m ³	ガラ処分工			m ³	
			鉄筋工				kg					
			No. 2	名称 No. 1~2自動除塵機開口部基礎	数量 1	コンクリート工	無筋	型	(4.25×2.4+0.15×0.35×2-1.6×2.0×2)	1.415 m ²		
×0.05 = 0.195	18N/mm ²	枠							(4.25+0.15×2+2.4+1.6×2+2.0×2)			
									×2×0.05 = 1.415			
						0.195 m ³	工					
モルタル仕上	厚さ 20 mm 配合 1 : 3	はつり工				(4.25×2.4+0.15×0.35×2-1.6×2.0×2)	5.320 m ²					
						+ (4.25+0.15×2+2.4+1.6×2+2.0×2)						
						×2×0.05 = 5.320					m ³	
モルタル充填							m ³	ガラ処分工			m ³	
鉄筋工							kg					



複合工及仮設計算書

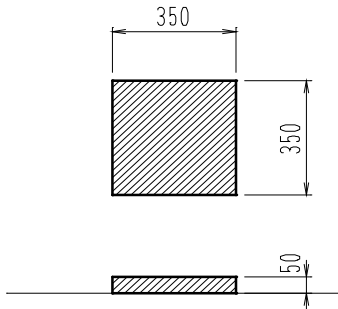
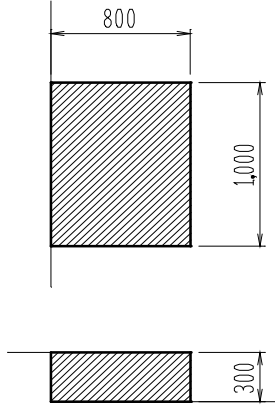
(設備名)

No.	名称	数量	コンクリート工	無筋	型	0.25×4×0.05×8 = 0.400			
No. 3	しき搬出機基礎	数量 8	<p>2脚箇所×4箇所 計8脚</p>	0.25×0.25×0.05×8 = 0.025	無筋	型	0.25×4×0.05×8 = 0.400		
				18N/mm ²	枠				
				0.025 m ³	工		0.400 m ²		
				モルタル仕上	(0.25×0.25+0.25×4×0.05)×8 = 0.900	厚さ 20 mm 配合 1 : 3	は つ り 工		
					0.900 m ²			m ³	
モルタル充填			ガ ラ 処 分 工		m ³	m ³			
鉄筋工				kg					
No.	名称	数量	コンクリート工		型				
					枠				
				m ³	工		m ²		
				モルタル仕上	厚さ 20 mm 配合 1 : 3	は つ り 工			
					m ²			m ³	
				モルタル充填			ガ ラ 処 分 工		m ³
鉄筋工				kg					

複合工及仮設計算書

(設備名)

No.	名称	数量	工種	計算式	材料	単位	計算式	数量
No. 4	自動除塵機点検架台階段部基礎	1	コンクリート工	$0.8 \times 1.0 \times 0.3 = 0.240$	無筋	型	$(0.8 \times 2 + 1.0) \times 0.3 = 0.780$	
					18N/mm ²	枠		
					0.240 m ³	工		0.780 m ²
			モルタル仕上	$0.8 \times 1.0 + (0.8 \times 2 + 1.0) \times 0.3 = 1.580$	厚さ 20 mm 配合 1 : 3	はつり工		
					1.580 m ²			m ³
			モルタル充填			ガラ処分工		
					m ³			m ³
			鉄筋工					
	kg							
No. 5	自動除塵機点検架台脚部基礎	3	コンクリート工	$0.35 \times 0.35 \times 0.05 = 0.006$	無筋	型	$0.35 \times 4 \times 0.05 = 0.070$	
				$0.006 \times 3 = 0.018$	18N/mm ²	枠	$0.070 \times 3 = 0.210$	
					0.018 m ³	工		0.210 m ²
			モルタル仕上	$0.35 \times 0.35 + 0.35 \times 4 \times 0.05 = 0.192$	厚さ 20 mm 配合 1 : 3	はつり工		
				$0.192 \times 3 = 0.576$	0.576 m ²			m ³
			モルタル充填			ガラ処分工		
					m ³			m ³
			鉄筋工					
	kg							



撤 去 工

一般労務員・機械設備据付工集計表

〔撤去〕

(設備名)

	普通作業員 (人)	配 管 工 (人)	設備機械工 (人)	溶 接 工 (人)	電 工 (人)	ダ ク ト 工 (人)	機械設備据付工 (人)	技 術 者 (人)	備 考
機器等据付工	5.05		45.50 12.32						
铸铁管据付工 〔φ400以上〕									
铸铁管据付工 〔φ350以下〕									
鋼管据付工									
小配管据付工 〔配管用, 水道用鋼管〕									
小配管据付工 〔ライニング鋼管〕									
小配管据付工 〔ステンレス鋼管〕		0.55							
小配管据付工 〔塩化ビニル管〕									
ダ ク ト 工									
計	5.05	0.55	57.82						
設 計 数 量	— 人	— 人	— 人	— 人	— 人	— 人	— 人	— 人	

※ 更新 一般労務員・機械設備据付工集計表へ

小配管据付工

〔撤去〕

(設備名)

ステンレス鋼鋼管

口 径	屋 内 配 管					屋 外 配 管					埋 設 配 管					既 設 管 廊 配 管						
	設計数量 (m)	歩掛	補正率	補正後 歩 掛	配管工	設計数量 (m)	歩掛	補正率	補正後 歩 掛	配管工	設計数量 (m)	歩掛	補正率	補正後 歩 掛	配管工	設計数量 (m)	歩掛	補正率	補正後 歩 掛	配管工		
15		0.17	0.4	0.06			0.13	0.4	0.05			0.07	0.4	0.02			0.17	1.3	0.22			
20		0.20	0.4	0.08			0.16	0.4	0.06			0.09	0.4	0.03			0.20	1.3	0.26			
25		0.24	0.4	0.09			0.19	0.4	0.07			0.11	0.4	0.04			0.24	1.3	0.31			
32		0.29	0.4	0.11			0.23	0.4	0.09			0.12	0.4	0.04			0.29	1.3	0.37			
40		0.35	0.4	0.14			0.28	0.4	0.11			0.15	0.4	0.06			0.35	1.3	0.45			
50		0.42	0.4	0.16			0.33	0.4	0.13			0.19	0.4	0.07			0.42	1.3	0.54			
65		0.53	0.4	0.21			0.42	0.4	0.16			0.21	0.4	0.08			0.53	1.3	0.68			
80		0.63	0.4	0.25			0.50	0.4	0.20			0.24	0.4	0.09			0.63	1.3	0.81			
100		0.78	0.4	0.31			0.62	0.4	0.24			0.35	0.4	0.14			0.78	1.3	1.01			
125		0.96	0.4	0.38		1.600	0.76	0.4	0.30	0.48		0.45	0.4	0.18			0.96	1.3	1.24			
150		1.14	0.4	0.45			0.91	0.4	0.36			0.54	0.4	0.21			1.14	1.3	1.48			
200		1.50	0.4	0.60		0.150	1.20	0.4	0.48	0.07		0.75	0.4	0.30			1.50	1.3	1.95			
250		1.86	0.4	0.74			1.48	0.4	0.59			1.00	0.4	0.40			1.86	1.3	2.41			
300		2.22	0.4	0.88			1.77	0.4	0.70			1.27	0.4	0.50			2.22	1.3	2.88			
350		2.58	0.4	1.03			2.20	0.4	0.88			1.50	0.4	0.60			2.58	1.3	3.35			
小 計						小 計					0.55	小 計						小 計				

配管工 合計

0.55 人

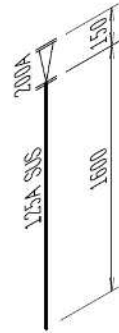
小配管材料・据付集計表

[撤去]

(設備名)

管種 口径	付属材料率	スケルトン No.												計 (m)	据付数量 (m)		
		1															
SUS304TP Sch20S 200A	材																
		料															
	据		屋 内														
			屋 外	0.150												0.150	0.150
	付		埋 設														
		排水通気															
SUS304TP Sch20S 125A	材																
		料															
	据		屋 内														
			屋 外	1.600												1.600	1.600
	付		埋 設														
		排水通気															
	材																
		料															
	据		屋 内														
			屋 外														
	付		埋 設														
		排水通気															
	材																
		料															
	据		屋 内														
			屋 外														
	付		埋 設														
		排水通気															

配管場所は屋外配管とする
SUSはSUS304TP Sch20Sとする



小配管	
SUS304TP Sch20S (屋外)	
200A	0.15 m
125A	1.60 m

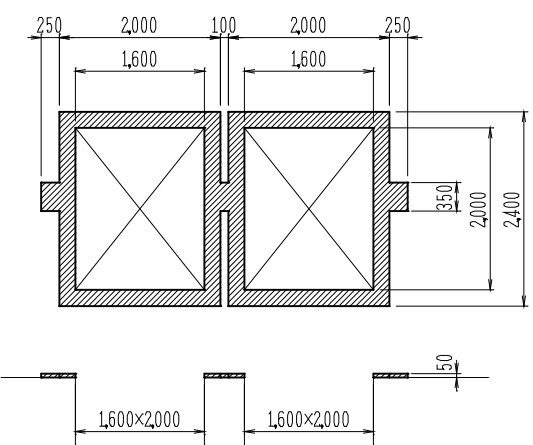
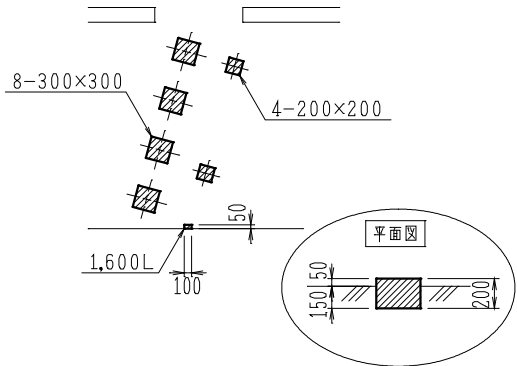
No	スケルトン名称
1	排水管 (撤去)

複合工及仮設計算書

[撤去]

(設備名)

No.	名称	数量	工種	単位	型	計算式	結果
No. 1	No. 1~2自動除塵機・細目スクリーン基礎(撤去)	数量 2	コンクリート工	m ³	型枠工		m ²
			モルタル仕上	厚さ 20 mm 配合 1:3	はつり工	$0.3 \times 0.3 \times 0.2 \times 8 + 0.2 \times 0.2 \times 0.2 \times 4$ $+ 0.1 \times 0.05 \times 1.6 = 0.184$	無筋
			モルタル充填		ガラ処分工	$0.3 \times 0.3 \times 0.2 \times 8 + 0.2 \times 0.2 \times 0.2 \times 4$ $+ 0.1 \times 0.05 \times 1.6 = 0.184$	無筋
			鉄筋工	kg			
No. 2	No. 1~2自動除塵機開口部基礎(撤去)	数量 1	コンクリート工	m ³	型枠工		m ²
			モルタル仕上	厚さ 20 mm 配合 1:3	はつり工	$\{(2.0 \times 2.4 - 1.6 \times 2.0) \times 2$ $+ (0.25 + 0.1 + 0.25) \times 0.35\} \times 0.05$ $= 0.170$	無筋
			モルタル充填		ガラ処分工	$\{(2.0 \times 2.4 - 1.6 \times 2.0) \times 2$ $+ (0.25 + 0.1 + 0.25) \times 0.35\} \times 0.05$ $= 0.170$	無筋
			鉄筋工	kg			



複合工及仮設計算書

〔撤去〕

(設備名)

No.	4	名称	自動除塵機点検架台階段部基礎(撤去)	数量	1				
	コンクリート工				m ³	型 枠 工		m ²	
	モルタル仕上	厚さ 20 mm 配合 1 : 3			m ²	は つ り 工	$1.0 \times 0.8 \times 0.3 = 0.240$	無筋	
	モルタル充填				m ³	ガ ラ 処 分 工	$1.0 \times 0.8 \times 0.3 = 0.240$	無筋	
	鉄筋工				kg			0.240 m ³	
	鉄筋工				kg			0.240 m ³	
	鉄筋工				kg				
	No.	5	名称	自動除塵機点検架台脚部基礎(撤去)	数量	3			
		コンクリート工				m ³	型 枠 工		m ²
		モルタル仕上	厚さ 20 mm 配合 1 : 3			m ²	は つ り 工	$0.35 \times 0.35 \times 0.05 = 0.006$ $0.006 \times 3 = 0.018$	無筋
		モルタル充填				m ³	ガ ラ 処 分 工	$0.35 \times 0.35 \times 0.05 = 0.006$ $0.006 \times 3 = 0.018$	無筋
鉄筋工					kg			0.018 m ³	
鉄筋工					kg			0.018 m ³	
鉄筋工					kg				

資 料

味瀉雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事(8-1)

【附帯電気工事分】

数量計算書

材 料 数 量

(*) 印は工量無

[Aグループ]

(1)	低圧ケーブル	600V CV 3.5 sq- 3 c	m	37
(2)	低圧ケーブル	600V CV 3.5 sq- 2 c	m	22
(3)	制御ケーブル	CVV 1.25 sq- 12 c	m	14
(4)	制御ケーブル	CVV 1.25 sq- 4 c	m	22
(5)	その他電線	IV 3.5 sq	m	33
(6)	電線管類	GP 36 mm (露出)	m	20
(7)	電線管類	GP 28 mm (露出)	m	12
(8)	電線管類	GP 22 mm (露出)	m	33
(9)	一般労務費	電 工 (据付)	人	28
(10)	技術労務費	技術者 (据付)	人	1

機器数量(移設)

数量・単位は据付入力欄のものとしします [Aグループ]

(1) 機器

自動除塵機盤

面

1

材 料 数 量(移設)

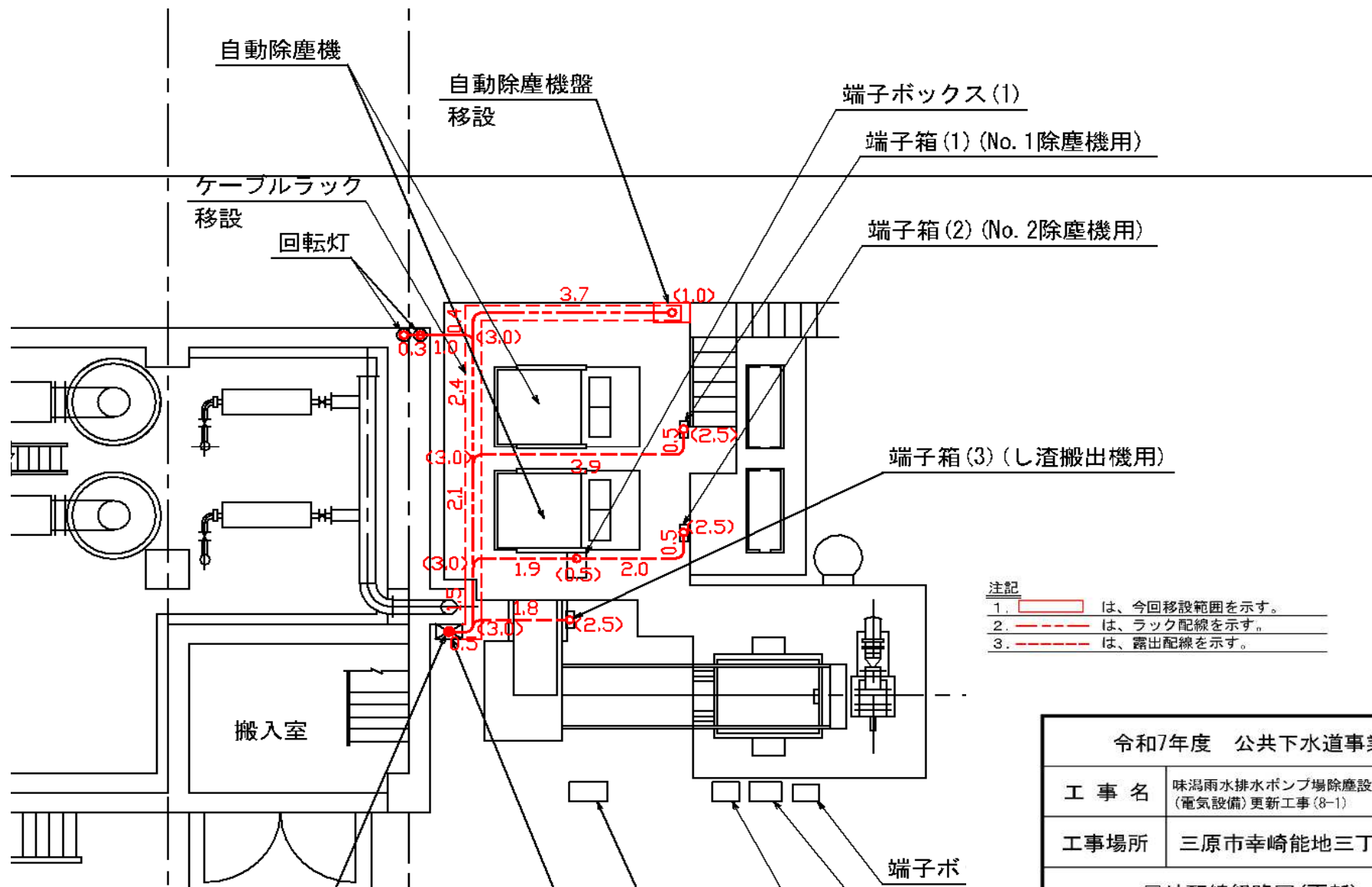
(*) 印は工量無

[Aグループ]

(1)	低圧ケーブル	600V CV 3.5 sq- 3 c	m	29
(2)	低圧ケーブル	600V CV 3.5 sq- 2 c	m	56
(3)	低圧ケーブル	600V CV 2 sq- 2 c	m	11
(4)	制御ケーブル	CVV 1.25 sq- 30 c	m	19
(5)	制御ケーブル	CVV 1.25 sq- 10 c	m	11
(6)	その他電線	IV 3.5 sq	m	9
(7)	電線管類	GP 70 mm (露出)	m	5
(8)	電線管類	GP 36 mm (露出)	m	5
(9)	ケーブルラック	アルミケーブルラック W 300	m	10.8

No	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
1009	端子ボックス (1)	端子箱(1)(No .1除塵機用)	600V CV 3.5 sq - 3 c	P&D		
				RACK	2.1	2.1
				CP	15.3	(0.5)+ 1.9 + (3.0)+ (3.0)+ 3.9 + 0.5 + (2.5)
				FEP		
			IV 3.5 sq	CP	15.3	(0.5)+ 1.9 + (3.0)+ (3.0)+ 3.9 + 0.5 + (2.5)
			GP 36 mm	露出	15.3	(0.5)+ 1.9 + (3.0)+ (3.0)+ 3.9 + 0.5 + (2.5)
			埋込			
1010	端子ボックス (1)	端子箱(1)(No .1除塵機用)	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK	2.1	2.1
				CP	15.3	(0.5)+ 1.9 + (3.0)+ (3.0)+ 3.9 + 0.5 + (2.5)
				FEP		
				CP		
				露出		
			埋込			
1011	端子ボックス (1)	端子箱(1)(No .1除塵機用)	CVV 1.25 sq - 4 c	P&D		
				RACK	2.1	2.1
				CP	15.3	(0.5)+ 1.9 + (3.0)+ (3.0)+ 3.9 + 0.5 + (2.5)
				FEP		
				CP		
			GP 22 mm	露出	15.3	(0.5)+ 1.9 + (3.0)+ (3.0)+ 3.9 + 0.5 + (2.5)
			埋込			
1012	端子ボックス (1)	端子箱(2)(No .2除塵機用)	600V CV 3.5 sq - 3 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.5	(0.5)+ 2.0 + 0.5 + (2.5)
				FEP		
			IV 3.5 sq	CP	5.5	(0.5)+ 2.0 + 0.5 + (2.5)
			GP 36 mm	露出	5.5	(0.5)+ 2.0 + 0.5 + (2.5)
			埋込			
1013	端子ボックス (1)	端子箱(2)(No .2除塵機用)	600V CV 3.5 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.5	(0.5)+ 2.0 + 0.5 + (2.5)
				FEP		
				CP		
				露出		
			埋込			

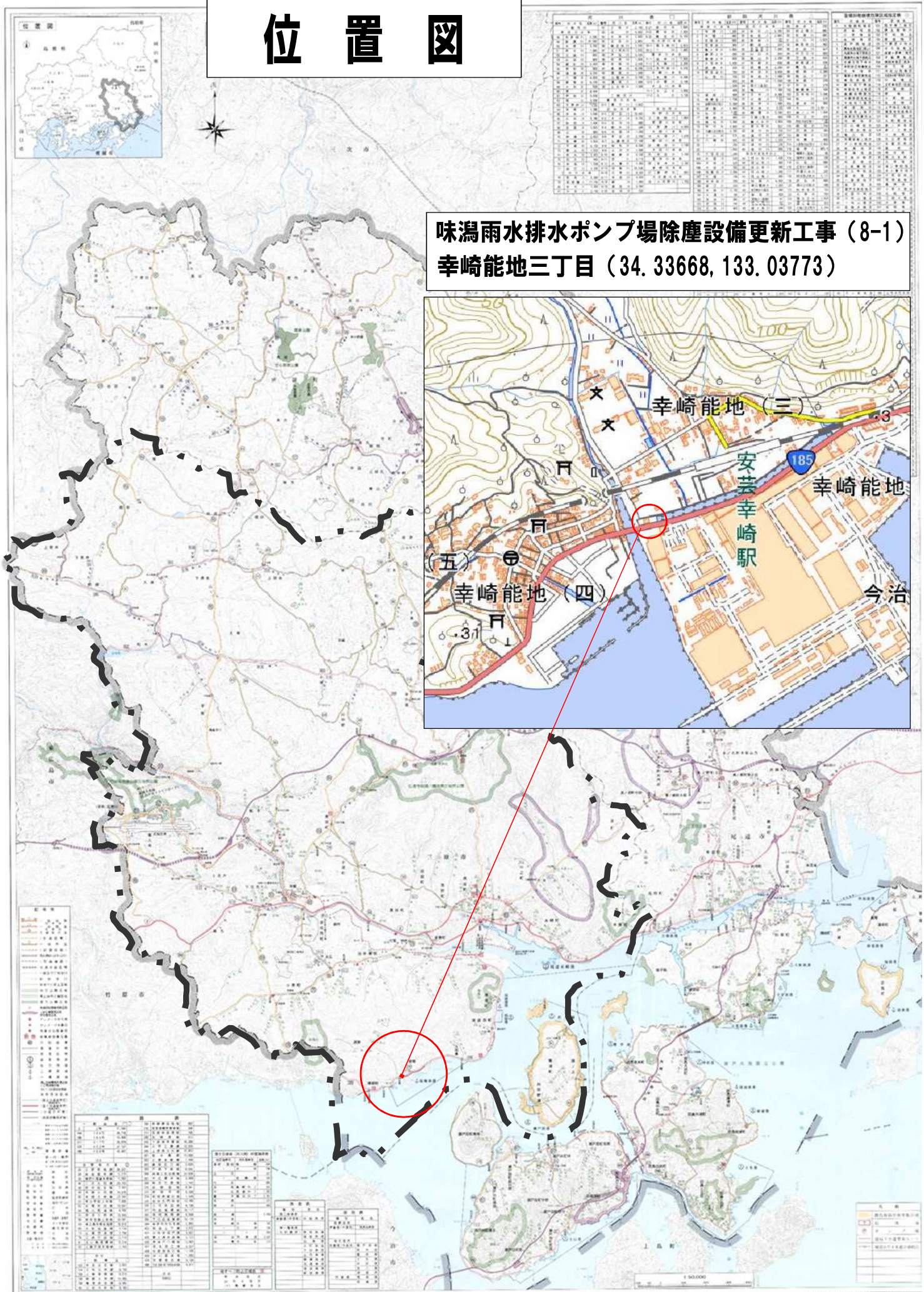
No	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算	
M 1001	配線引戻し点	自動除塵機盤	600V CV 3.5 sq - 2 c x 2	P&D			
				RACK	11.6	0.5 + 1.5 + 2.1 + 2.4 + 0.4 + 3.7 + (1.0)	
				CP			
				FEP			
				CP			
				露出			
M 1002	配線引戻し点	自動除塵機盤	600V CV 2 sq - 2 c	P&D			
				RACK	11.6	0.5 + 1.5 + 2.1 + 2.4 + 0.4 + 3.7 + (1.0)	
				CP			
				FEP			
				CP			
				露出			
M 1003	配線引戻し点	自動除塵機盤	CVV 1.25 sq - 30 c	P&D			
				RACK	11.6	0.5 + 1.5 + 2.1 + 2.4 + 0.4 + 3.7 + (1.0)	
				CP			
				FEP			
				CP			
				露出			
M 1004	配線引戻し点	自動除塵機盤	CVV 1.25 sq - 10 c	P&D			
				RACK	11.6	0.5 + 1.5 + 2.1 + 2.4 + 0.4 + 3.7 + (1.0)	
				CP			
				FEP			
				CP			
				露出			
M 1005	配線引戻し点	端子ボックス (1)	600V CV 3.5 sq - 3 c x 4	P&D			
				RACK	2.0	0.5 + 1.5	
				CP	5.4	(3.0)+ 1.9 + (0.5)	
				FEP			
				IV 3.5 sq	CP	5.4	(3.0)+ 1.9 + (0.5)
				GP 70 mm	露出	5.4	(3.0)+ 1.9 + (0.5)
	埋込						



注記
 1. は、今回移設範囲を示す。
 2. は、ラック配線を示す。
 3. は、露出配線を示す。

令和7年度 公共下水道事業	
工事名	味湯雨水排水ポンプ場除塵設備 (電気設備) 更新工事(8-1)
工事場所	三原市幸崎能地三丁目地内
屋外配線経路図(更新)	
E-1	
三原市	

位置図



味瀉雨水排水ポンプ場除塵設備更新工事 (8-1)
幸崎能地三丁目 (34. 33668, 133. 03773)

項目	内容
1	幸崎能地一丁目
2	幸崎能地二丁目
3	幸崎能地三丁目
4	幸崎能地四丁目
5	幸崎能地五丁目

項目	内容
1	幸崎能地一丁目
2	幸崎能地二丁目
3	幸崎能地三丁目
4	幸崎能地四丁目
5	幸崎能地五丁目

項目	内容
1	幸崎能地一丁目
2	幸崎能地二丁目
3	幸崎能地三丁目
4	幸崎能地四丁目
5	幸崎能地五丁目